

# 北海道占冠村 第8次社会教育中期計画

令和5年～令和9年



清流大学

占冠村教育委員会



# 北海道占冠村 第 8 次社会教育中期計画

令和 5 年～令和 9 年

「共に学び支え合う社会教育」

占冠村教育委員会



# 占冠村民憲章

わたくしたちは、樹海と清流に恵まれた自然の中に、先人の遺業を受け継ぎ、輝かしい未来をみつめながら、住みよい郷土占冠をつくるために、この憲章を定めます。

1. 健康で、しあわせな家庭をつくりましょう。
1. 自然を愛し、美しい環境をつくりましょう。
1. きまりを守り、明るいまちをつくりましょう。
1. 生産を高め、活気ある社会をつくりましょう。
1. 文化を育て、豊かな郷土をつくりましょう。

(昭和 57 年 8 月 5 日制定)

# 占冠村教育目標

わたくしたちは、先人の開拓精神とその歴史や文化を受けつぎ、生涯学習の観点に立ち、平和で民主的な郷土の未来を自ら切り拓く心身ともに健康な村民の育成を目指して、ここに占冠村教育目標を定めます。

1. 生涯にわたり、自ら学びつづけ、これからのふるさとを担う人を育成します。
1. 自然を愛し、思いやりをもち、ともに支え合う人を育成します。
1. スポーツに親しみ、体をきたえ、心身ともに健康な人を育成します。
1. 勤労を尊び、温もりのある家庭を築く人を育成します。
1. 歴史と文化を受けつぎ、平和で民主的な郷土を創造する人を育てます。

(平成 21 年 2 月 25 日改定)



はじめに

第7次社会教育中期計画中には、新型コロナウイルス感染症の拡大、国際情勢の不安定化など、予測困難な時代の象徴となる事態が生じ、教育に対する課題が浮き彫りとなるとともに、学びの変容がもたらされました。

様々な社会問題が存在する中で、Society5.0を見据え、これからの社会を考える時、教育の果たす役割は益々重要になってきています。

占冠村においても、少子高齢化・人口減少が進み、スポーツ・文化団体等の会員の減少、地域コミュニティの維持の問題など、今後の社会教育のあり方に対する柔軟な対応が求められています。

さて、本計画は、第6次では「つながりがつくる社会教育」、第7次では、「”占冠愛”を育む生涯学習」を計画目標に掲げて、社会教育行政を推進してまいりました。

第7次占冠村社会教育中期計画の実績と評価を踏まえ、占冠村社会教育中期計画策定員会へ諮問し、委員の皆様には本村の情勢、地域課題を踏まえた議論をいただきながら、共に学び支えあう社会教育」を計画目標とした、第8次占冠村社会教育中期計画の答申を受けました。

将来の予測が困難な時代の中にあつて、誰一人取り残されることなく、生きがいを感じることができる、包括的な社会を目指し、全ての村民が自分らしく安心して暮らすことのできる環境を、社会教育を通じて充実させていくことが重要であるとのことから本計画を策定しています。

計画を推進するにあたり、村民一人ひとりの学びが、村民相互の学びにつながり、共に支えあう学びへとつなげていくため、関係機関、団体及び村民の皆様のご理解と参画をお願いいたします。

最後になりますが、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました占冠村社会教育中期計画策定委員会の委員の皆様に対して、心から厚くお礼申し上げます。

令和5年3月

占冠村教育委員会 教育長 多田淳史





# 目次

|                     |    |
|---------------------|----|
| ○基本コンセプト            | 1  |
| ○本計画の位置付け           | 2  |
| ○各カテゴリの内容と定義        | 3  |
| ○「計画の特徴」と「基本スケジュール」 | 4  |
| ○年度別最重点事項の決定と評価     | 5  |
| ○年度別最重点事項           | 6  |
| ○大分類(1) 「人づくり」      |    |
| ①家庭教育               | 7  |
| ②青少年教育              | 9  |
| ③青年教育               | 11 |
| ④成人教育               | 13 |
| ⑤高齢者教育              | 15 |
| ○大分類(2) 「地域活動等の充実」  |    |
| ①ボランティア活動           | 17 |
| ②芸術文化活動             | 19 |
| ③スポーツ活動             | 21 |
| ○大分類(3) 「社会教育基盤整備」  | 23 |
| 《資料編》               |    |
| ○諮問文                | 25 |
| ○答申文                | 26 |
| ○村民の生涯学習に関する調査結果    | 27 |
| ○策定経過               | 66 |
| ○策定委員名簿             | 67 |

# 基本コンセプト

## 計画目標～「共に学び支えあう社会教育」

第6次では「つながりがつくる社会教育」、第7次では「“占冠愛”を育む生涯学習」を計画目標に掲げ、「住民同士のつながり」「占冠村だからこそできる社会教育・生涯学習」を基本コンセプトに据え社会教育行政を進めてまいりました。

この間、年間を通して様々な公民館講座や、住民主体の自主創造プログラム、社会体育施設を活用したスポーツ活動などが行われてきました。

そのような中で、2019年12月に中国で新型コロナウイルス感染症の第1例目となる感染者が報告され、それからわずか数か月で世界的な流行となり、日本でも感染が広がると多くの活動が制限され社会が一変する事態となりました。

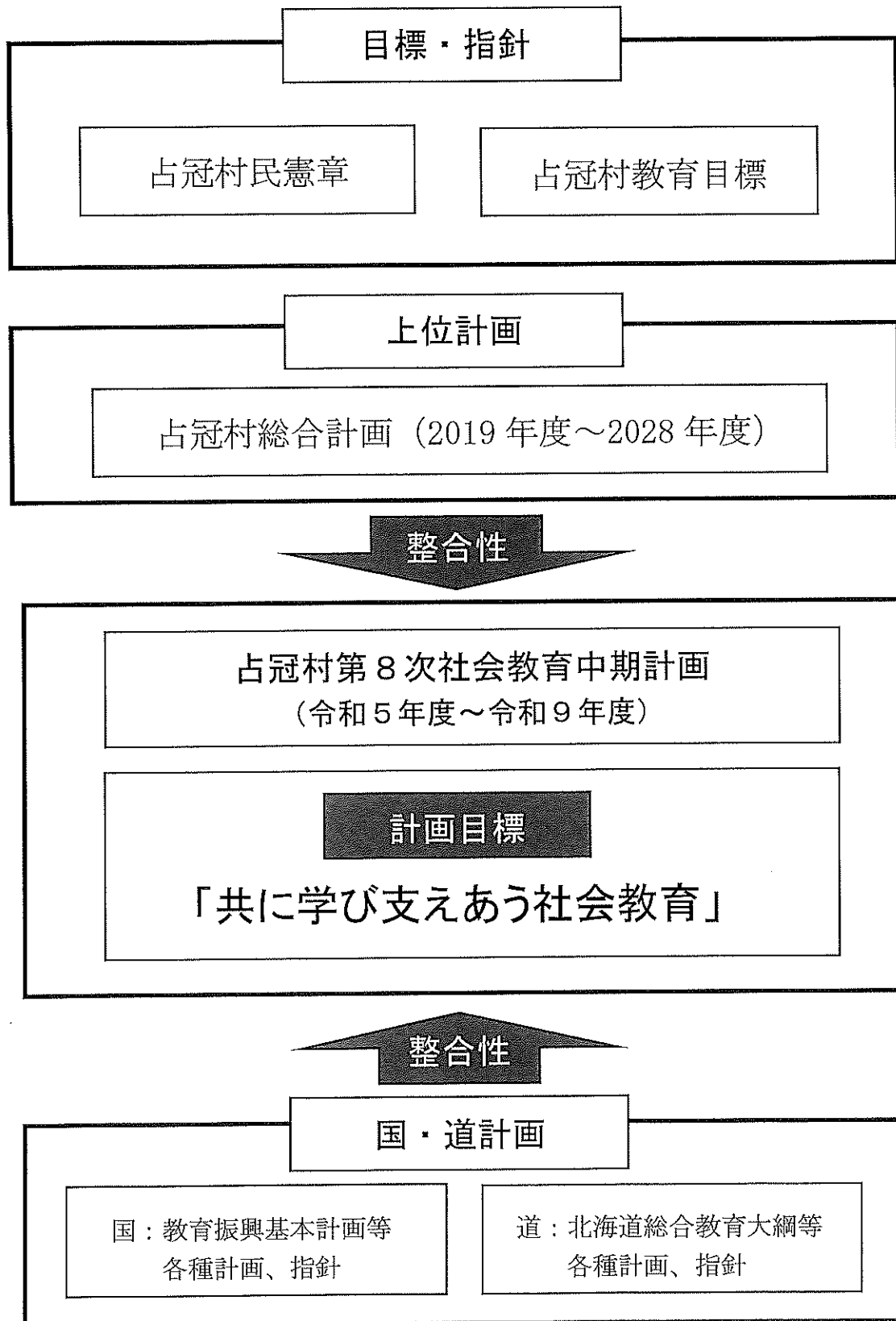
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、生涯学習活動も自粛を余儀なくされ、住民同士が交流する機会も奪われました。この経験により、人とのつながりや当たり前の日常がいかに尊いものであるかを再認識することとなりました。コロナ禍でも学びを止めてはならないという思いのもと、「オンライン」などを活用し、制限がある中でも創意工夫を凝らした生涯学習活動を進めて行くことが求められます。

社会が大きく変化する中であって、急速に進行する少子高齢化や財政問題、さらにはより多様で複雑化する課題と向き合いながら、ICTなどの新しい技術を最大限活用しつつ、1人1人が豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会の構築、すべての人が生涯にわたって主体的に学び続けることのできる環境が一層重要となります。

今回の新型コロナウイルス感染症への対応を通じ、誰一人として取り残されることなく生きがいを感じることのできる包摂的な社会を目指し、全ての村民が自分らしく安心して暮らすことのできる環境を、社会教育を通して充実させていくことが大切であると考えました。

以上の見地から、本計画の目標を「共に学び支えあう社会教育」としました。

## 本計画の位置付け



## 各カテゴリの内容と定義

第6次、第7次の計画を踏襲し、全ての地域活動の土台となる「人づくり」に関する事項を大分類の（１）とし、それらの人づくりの土台として展開していく「地域活動等の充実」を大分類の（２）、インフラ整備等に関する「社会教育基盤整備」を大分類の（３）と大きくジャンルに分けます。

また、「人づくり」に関しては、「家庭教育」「青少年教育」「青年教育」「成人教育」「高齢者教育」の５つに区分しました。

なお、青少年教育の対象は「小学生～大学生まで」とし、大学生と同年齢でも既に就労している青年については「青年教育」の対象とします。

### 大分類（１） 「人づくり」

#### ①家庭教育

※定義…主に小学校就学前の乳幼児及びその保護者を対象とする

#### ②青少年教育

※定義…小学生～学生（中・高・大学生）までとする

#### ③青年教育

※定義…社会人１年生～40歳とする

#### ④成人教育

※定義…41歳～64歳とする

#### ⑤高齢者教育

※定義…65歳～とする

### 大分類（２） 「地域活動等の充実」

#### ①ボランティア活動

#### ②芸術文化活動

#### ③スポーツ活動

### 大分類（３） 「社会教育基盤整備」

# 「計画の特徴」と「基本スケジュール」

## 計画の特徴

### 1 細かな事業まで決めてしまわない

計画策定段階では、具体的な事業名まで決定せず、重点事項（もしくは具体的な事業）は毎年度、社会教育委員会議で決定する。

### 2 書き込みノート式

毎年度の重点事項、ジャンル毎の重点事項（もしくは具体的な事業）を年度当初の会議で決定する。

### 3 決定プロセスのシステム化

担当者の人事異動を念頭に置き、上記のプロセスをシステム化し、本計画の継続性を担保する。

## 基本スケジュール

毎年の重点事項の決定及び評価のスケジュールは以下のとおりです。

- 4月 第1回 前年度の重点事項の評価（1）・当該年度の重点事項の決定（1）
- 5月 第2回 前年度の重点事項の評価（2）・当該年度の重点事項の決定（2）
- 9月 第3回 当該年度の重点事項の達成状況確認
- 10月 第4回 新年度予算の素案作成
- 2月 第5回 予算査定終了後の新年度事業計画について
- 3月 第6回 新年度事業方針の決定・当該年度の重点事項評価

## 基本スケジュールの詳細について

- ・ 4月 第1回 前年度の重点事項の評価（1）・当該年度の重点事項の決定（1）  
4月に行われる第1回の会議では、前年度の最重点事項についての評価を行い、次に各ジャンル別の事業評価を行います。また、事業評価が終わったジャンルについて、当該年度の重点事項を決定していきます。
- ・ 5月 第2回 前年度の重点事項の評価（2）・当該年度の重点事項の決定（2）  
第1回目の会議にて議論できなかったジャンルについて、事業評価と当該年度の重点事項を決定していきます。
- ・ 9月 第3回 当該年度の重点事項の達成状況確認  
年度内に実施した事業の状況を確認し、必要に応じ事業計画の見直しを行います。
- ・ 10月 第4回 新年度予算の素案作成  
新年度予算について議論します。事務局はその内容をもとに予算案を策定します。
- ・ 2月 第5回 予算査定終了後の新年度事業計画について  
予算査定の内容を受けて、再度新年度事業について検討します。
- ・ 3月 第6回 新年度事業方針の決定・当該年度の重点事項評価  
新年度の事業方針を決定し、時間があれば当該年度の事業評価をします。

# 年度別最重点事項の決定と評価

## 年度別最重点事項

本計画の計画目標である「共に学び支えあう社会教育」の達成に向けて、年度毎の最重点事項を決定します。

分野毎にそれぞれの重点事項を決定しますが、全ての分野の重点事項を1年で達成することは困難と考えられるため、その中から当該年度で最も重点を置く事項を選択し、最優先の課題として「今年、これだけはやろう!」という最重点事項を定めます。

最重点事項並びに各分野の重点事項について、その課題がどのように改善・解決していくことを目指すのか、という成果目標（アウトカム）とその達成度を定量的に測るための「〇〇の割合」「△△の回数」といった指標を設定します。

### 【アウトカムとは】

事業の実施を通じて望まれる「こうなったらいいな」という事業対象者の変化、行動変容などを指します。

## 評価

評価については、年度初めに設定した指標の実績値と達成度を記入し、目標達成のために行った工夫や次年度に向けた改善点など、社会教育委員会議での議論に基づいて評価・分析した内容を記載します。

達成度については、以下を基準とします。

### ●達成度（5段階評価）

- 5…本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した
- 4…本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた
- 3…本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた
- 2…本年度の目標値を下回り、取り組みの工夫・改善が求められる
- 1…本年度の目標値を大きく下回り、取り組みの抜本的な見直しが求められる

## 年度別最重点事項

|                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 令和5年度<br>(2023) | 最重点事項      |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和6年度<br>(2024) | 最重点事項      |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和7年度<br>(2025) | 最重点事項      |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和8年度<br>(2026) | 最重点事項      |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和9年度<br>(2027) | 最重点事項      |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |

## 【大分類(Ⅰ)「人づくり」】

### ＜家庭教育＞

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>現状と課題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォン、SNSなどの普及により、親同士のコミュニケーション、情報伝達が容易になっている。</li> <li>・様々な情報を容易に入手可能である一方、情報の真偽を判断するネットリテラシーの向上が求められる。</li> <li>・子育て中の親が気軽に集える場として公民館図書室や、トマムコミュニティセンター、ノンノ、ミナトマムなどを開放しているが、十分に活用されているとはいえない。</li> <li>・コロナ禍の影響もあり、親子が集える場所、機会が少ない。</li> <li>・年々出生数が減少し、子どもの数が減ってきている。</li> <li>・結婚を機に占冠村へ転入し、地域とのつながりが希薄な中で子育てを行っている。</li> <li>・両親の一方もしくは双方が外国籍である子どもが増えてきており、外国語に対応した子育て支援サービスが求められている。</li> <li>・世代間交流が少ない。</li> <li>・子育て支援に対するニーズの多様化と複雑化に対応していく必要がある。</li> <li>・居住年数が短いほど地域への愛着が弱い傾向があるが、住み続けると愛着がわく、強くなるという傾向がみられる。</li> <li>・若い世代では、父親の育児参加が進んでいる。</li> </ul> |
| <p>めざす姿</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の孤立化、孤独な子育てを防ぎ、地域全体で家庭教育を支える村。</li> <li>・占冠村の豊かな自然を享受し、地域への愛着を育む家庭教育を推進する村。</li> <li>・父親と母親がともに家庭教育に携わることを支援する村。</li> <li>・親子がともに学び、育ち合う家庭教育が実践される村。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>事業の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・占冠村の豊かな自然を活用し、親子で共に学び、体験しながら、占冠村の良さを再発見できる事業。</li> <li>・関係機関と連携し、それぞれの専門分野からのアプローチにより家庭教育の充実につなげる事業。</li> <li>・親子の読書習慣の定着が図られる事業。</li> <li>・多様な文化、価値観を尊重する事業。</li> <li>・誰もが孤立せず、悩みや相談を気軽に話せるネットワークをつくる事業。</li> <li>・インターネットを安全に活用するための知識やスキルが身に付く事業。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |



## ＜家庭教育＞

|                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 令和5年度<br>(2023) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |            |              |
| 令和6年度<br>(2024) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |            |              |
| 令和7年度<br>(2025) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |            |              |
| 令和8年度<br>(2026) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |            |              |
| 令和9年度<br>(2027) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |            |              |

## 【大分類(1)「人づくり」】

### ＜青少年教育＞

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>現状と課題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒数の減少が進み、様々な活動に困難をきたしており、体験機会の確保が求められている。特にトマム地区の児童生徒において、その影響が顕著である。</li> <li>・インターネット接続機器の普及によりインターネット利用の低年齢化が進んでおり、ネットトラブルなどの危険を回避するためのネットリテラシー教育が必須となっている。</li> <li>・多くの児童生徒が公設塾を利用しており、公設塾が家庭学習の定着に寄与している。</li> <li>・少年団活動、部活動、習い事などで、子ども達の余暇は忙しく、地域の自然や歴史、産業に触れ学ぶ機会が十分とはいえない。</li> <li>・アスペン市との姉妹都市交流により、占冠村の小中学生は誰もが異文化を直接体験することが出来る。</li> <li>・村内には高校生や大学生を対象とした活動の場や機会が少ない。</li> </ul> |
| <p>めざす姿</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びや体験を通し、子ども達の自己肯定感を高める教育。</li> <li>・占冠村の産業、歴史、自然などを学び、郷土愛を育む村。</li> <li>・アスペン市との姉妹都市交流などを活かし、国際的な価値観を持つ人材の育成。</li> <li>・学校、家庭、地域が連携し、地域全体で子ども達を守り、育てる村。</li> <li>・生活や社会の中で出会う課題の解決に、自らの能力や学習したことを主体的に生かしていくことが出来る人材の育成。</li> </ul>                                                                                                                                                                |
| <p>事業の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、地域が一体となって子ども達の安全・安心な居場所をつくり、成長を支える事業。</li> <li>・占冠村の産業、歴史、自然などを学び、郷土への愛着や誇りを醸成する事業。</li> <li>・様々な体験活動を通し、創造性、主体性を高める事業。</li> <li>・ネットリテラシーを身に付け、インターネットを青少年の望ましい体験活動や学びに活用する事業。</li> <li>・他国の言語や文化、生活習慣などを学び、国際的な視野を持つ人材を育成する事業。</li> <li>・本に親しみ、自主的な読書習慣が身に付く事業。</li> </ul>                                                                                                                 |

## ＜青少年教育＞

|                 |                    |              |
|-----------------|--------------------|--------------|
| 令和5年度<br>(2023) | 重点事項<br>若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標            |              |
|                 | 評 価                | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |                    |              |
| 令和6年度<br>(2024) | 重点事項<br>若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標            |              |
|                 | 評 価                | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |                    |              |
| 令和7年度<br>(2025) | 重点事項<br>若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標            |              |
|                 | 評 価                | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |                    |              |
| 令和8年度<br>(2026) | 重点事項<br>若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標            |              |
|                 | 評 価                | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |                    |              |
| 令和9年度<br>(2027) | 重点事項<br>若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標            |              |
|                 | 評 価                | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |                    |              |

## 【大分類(1)「人づくり」】

### ＜青年教育＞

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現状と課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共に宿泊業・飲食サービス業の就業人口が多く、そこに占める40代以下の割合が男5割近く、女7割程度となっている。</li> <li>・トマム地区の人口は、リゾート関連雇用により若い年齢層が多くなっているが、短期間の居住者が多く、定住人口の増にはつながっていない。</li> <li>・リゾート関連従業員には若者や外国人が多く、全国各地から転入しているが、地域住民との関りや行事等へ参加する機会が少ない。ただ、スポーツイベントには、声掛けなどにより参加する若者、外国人もいる。</li> <li>・占冠村では、時期により多いときでは外国人が人口の2割以上を占めることがあるが、彼らに対し村の社会教育が十分に行き届いているとはいえない。</li> <li>・村内には飲食店や商業施設が少ないため、若い人が集まる場所がない。</li> <li>・青年層や仕事や子育て、プライベートで忙しく、地域活動や生涯学習に参加する時間が持てない。</li> <li>・20歳代は、占冠村への関心度が低く、また生涯学習活動への参加経験も少ない。現在の生活への満足度も、10歳代に次いで低い結果となっている。</li> <li>・様々な情報を容易に入手可能である一方、情報の真偽を判断するネットリテラシーの向上が求められる。</li> </ul> |
| めざす姿   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習を通し、青年が地域への関心を持ち愛着を抱く村。</li> <li>・地域課題の担い手として青年が活躍する村。</li> <li>・住民である外国人との交流を通じ、社会の多様性を尊重する村。</li> <li>・子育て世帯が、住み続けたいと思える村。</li> <li>・社会人の学び直しを応援し、学びやすい環境を整備する村。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 事業の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、ライフステージに応じた生涯学習活動を推進。</li> <li>・現代的、社会的な課題を学び、社会の多様性を尊重する考えを醸成する事業。</li> <li>・地域課題解決の担い手となる人材育成につながる事業。</li> <li>・地域の青年同士のネットワークを構築する事業。</li> <li>・占冠村の産業、歴史、自然などを学び、地域の良さを再確認できる事業。</li> <li>・インターネットを安全に活用するための知識やスキルが身に付く事業。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

## ＜青年教育＞

|                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 令和5年度<br>(2023) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和6年度<br>(2024) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和7年度<br>(2025) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和8年度<br>(2026) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和9年度<br>(2027) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |

## 【大分類(1)「人づくり」】

### ＜成人教育＞

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現状と課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・少年団活動や PTA 活動などで中心的役割を担っており、労働力としても重要な立ち位置にいる。</li> <li>・40歳代、50歳代は、生涯学習に対し意欲的な世代である。</li> <li>・個人が持っている技術や知識を活かす場を設けることで、生きがいづくりにとなり、地域の活性化にもつながる。</li> <li>・運動をする機会が少なく習慣化されていないため、高齢期を見据えた健康づくりが必要。</li> <li>・人間関係や地域に基づくネットワークがすでに構築されており、キーパーソンの号令やきっかけ次第で様々な活動への参画が期待される。</li> <li>・様々な情報を容易に入手可能である一方、情報の真偽を判断するネットリテラシーの向上が求められる。</li> <li>・次の担い手として、上の世代が持つ知識や技能を受け継ぐことが期待される。</li> </ul> |
| めざす姿   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人が地域コミュニティの担い手の中核となって、主体的に村づくりを推進する村。</li> <li>・これまで培ってきた知識、技能、経験を、地域資源として村の活性化に活かす。</li> <li>・健康を維持し、元気に活躍する村。</li> <li>・成人が高齢者層と青年層双方と交流を深め、地域の世代間交流の橋渡し役を担う村。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                       |
| 事業の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスクール、学校支援地域本部等の活動に積極的に携わり、子ども達の学校生活をサポートする事業。</li> <li>・地域の課題解決に必要な学びと、その成果や一人ひとりが持つ技術、知識を活かした協働のむらづくり。</li> <li>・地域活動や生涯学習活動への参画を通し、むらづくりの担い手を育成する事業。</li> <li>・世代間交流の中から占冠村の歴史や伝統文化、自然環境などを学び、継承者を育成する事業。</li> <li>・健康や体力の維持、増進が図られる事業。</li> <li>・インターネットを安全に活用するための知識やスキルが身に付く事業。</li> </ul>                                                                                              |

## ＜成人教育＞

|                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 令和5年度<br>(2023) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和6年度<br>(2024) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和7年度<br>(2025) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和8年度<br>(2026) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和9年度<br>(2027) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |

## 【大分類(1)「人づくり」】

### ＜高齢者教育＞

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>現状と課題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・村内の高齢者は単身もしくは夫婦のみの世帯が多く、安心安全な暮らしを送るためには行政による支援や地域の関りが必要である。</li> <li>・地域活動の担い手の中心として活躍しているが、次世代の担い手不足から、技術や知識の継承が懸念される。</li> <li>・長生会や清流大学など高齢者を対象とした活動に積極的に参加する人がいる一方、家からあまり出てこない人もおり、高齢者を孤立させない取り組みが必要である。</li> <li>・地域活動や生涯学習活動への男性参加者が少ない。</li> <li>・今後定年年齢が延長されることから、地域活動の担い手不足や高齢化がますます深刻化すると思われる。</li> <li>・社会の ICT 推進により、高齢者にも基本的な情報活用能力の習得及び向上が求められる。</li> <li>・現在の生活に対する満足度が高い。</li> </ul> |
| <p>めざす姿</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身健康で、誰もが孤立することなく生きがいをもって暮らせる村。</li> <li>・世代間交流を図り、高齢者の持つ技術や知識を次世代に継承し、次の担い手育成につなげる。</li> <li>・高齢者を含む多様な年代、多彩な属性が共に学び、活動を行うことで、コミュニティのつながりを強固にする村。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                        |
| <p>事業の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の社会参画を促し、世代間交流が図られる事業。</li> <li>・福祉分野等の関係機関と連携し、高齢者の健康維持、増進が図られる事業。</li> <li>・高齢者が持つ知識や技能、経験を活かし、村づくりに活かす事業。</li> <li>・高齢者の孤立化を防ぎ、つながりをつくる学習、交流事業。</li> <li>・必要な情報を取得できるよう基本的なデジタルリテラシーを身に付ける事業。<br/>(※「デジタルリテラシー」～デジタル技術を理解して適切に活用する能力)</li> </ul>                                                                                                                                               |



## ＜高齢者教育＞

|                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 令和5年度<br>(2023) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和6年度<br>(2024) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和7年度<br>(2025) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和8年度<br>(2026) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和9年度<br>(2027) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |

## 【大分類(2)「地域活動等の充実」】

### ＜ボランティア活動＞

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>現状と課題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化と担い手不足により、ボランティア団体が活動を継続できなくなっている。</li> <li>・ボランティア活動に参加する人が固定化し高齢化が進んでいるため、個人に係る負担が増え辞めてしまうケースがみられる。</li> <li>・学校支援活動ボランティアの活動内容が、保護者や地域に十分には認識されておらず、新たな参加者の獲得のためにも、情報発信が必要である。</li> <li>・村内では利用できる地域資源が少ないため、事業を実施する際にボランティアに依拠するところが多い。</li> <li>・有償ボランティア「ファミリーサポートセンター・しむかつぷ」の活動が定着し、地域の欠かせないサポーターとなっている。</li> <li>・防災対策や地域課題を解決するため、町内会などを主体としたボランティアによる、行政と住民の協働による村づくりが進められている。</li> </ul> |
| <p>めざす姿</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動により、1人1人が地域の一員であることを自覚し、協働の村づくりを推進する村。</li> <li>・あらゆる世代が関わることで、ボランティア活動を通し、地域社会の結びつきを強固なものにする。</li> <li>・地域住民が積極的に学校と連携・協働し、地域全体で子ども達を育てる村。</li> <li>・ボランティア活動を通して子ども自身が企画、運営に参加する機会を提供し、社会や地域の課題に対し主体的に向き合う力を育てる。</li> </ul>                                                                                                                                                                  |
| <p>事業の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学びを支えるボランティア活動事業。</li> <li>・ボランティア活動への参加を啓発する事業。</li> <li>・ボランティア団体と行政が連携・協働して村づくりを推進する事業。</li> <li>・村民の持つ知識や技能、経験及び学びの成果をボランティア活動に活かす事業。</li> <li>・防災対策や自然環境保護、高齢者や障害者支援などのボランティア育成を行う事業。</li> </ul>                                                                                                                                                                                              |

## ＜ボランティア活動＞

|                   |            |                                      |
|-------------------|------------|--------------------------------------|
| 令和 5 年度<br>(2023) | 重点事項       |                                      |
|                   | 若しくは具体的事業名 |                                      |
|                   | 成果目標／指標    |                                      |
|                   | 評 価        | 【指標】    実績値                      達成度 |
| 令和 6 年度<br>(2024) | 重点事項       |                                      |
|                   | 若しくは具体的事業名 |                                      |
|                   | 成果目標／指標    |                                      |
|                   | 評 価        | 【指標】    実績値                      達成度 |
| 令和 7 年度<br>(2025) | 重点事項       |                                      |
|                   | 若しくは具体的事業名 |                                      |
|                   | 成果目標／指標    |                                      |
|                   | 評 価        | 【指標】    実績値                      達成度 |
| 令和 8 年度<br>(2026) | 重点事項       |                                      |
|                   | 若しくは具体的事業名 |                                      |
|                   | 成果目標／指標    |                                      |
|                   | 評 価        | 【指標】    実績値                      達成度 |
| 令和 9 年度<br>(2027) | 重点事項       |                                      |
|                   | 若しくは具体的事業名 |                                      |
|                   | 成果目標／指標    |                                      |
|                   | 評 価        | 【指標】    実績値                      達成度 |

## 【大分類(2)「地域活動等の充実」】

### ＜芸術文化活動＞

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現状と課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化や人口減少により、村内各文化団体は、会員の確保、活動の継続に苦慮している。</li> <li>・占冠神楽保存会では若手の新規会員加入を得たことで、郷土芸能の継承、村内での活動を活発に行っている。</li> <li>・個々の住民の中には文化団体活動に興味を持っている人も少なくないが、初心者が入りづらい、窓口がわからないなどの印象を持たれ、加入につなげられていない。</li> <li>・村民の才能、技術を地域に活かすために、芸術文化活動を指導できる人材の情報収集が必要である。</li> <li>・コロナ禍により中断や規模縮が影響し、総合文化祭の出品数が減少していることから、早めの周知や文化祭の内容の工夫により村民の創作意欲を高めることが求められる。</li> <li>・限られた予算の中で、国や道並びに民間の事業を活用しながら、村民に芸術鑑賞の機会を提供している。</li> <li>・自主創造プログラムを利用し、村民企画の音楽会が開催されている。</li> </ul> |
| めざす姿   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・村民が自由で自主的、主体的に芸術文化活動を楽しめる村。</li> <li>・郷土芸能の伝承、芸術文化活動をととして住民のコミュニケーションの輪が広がり、占冠村に愛着を持って心豊かに生活できる村。</li> <li>・団体、サークルの芸術文化活動が活発に行われる村。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事業の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体、サークルへの支援や情報提供を行い、村民の芸術文化活動の充実を図る事業。</li> <li>・郷土芸能の保存、伝承を支援する事業。</li> <li>・多くの村民が芸術鑑賞を楽しむ機会を提供する事業。</li> <li>・芸術文化活動の指導者を発掘し、担い手を育成する事業。</li> <li>・村民が芸術文化活動を行う場や、その成果を発表する場を創出する事業。</li> <li>・ICTを活用し様々な体験や学習機会が提供される事業。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                  |

## ＜芸術文化活動＞

|                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 令和5年度<br>(2023) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和6年度<br>(2024) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和7年度<br>(2025) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和8年度<br>(2026) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
| 令和9年度<br>(2027) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |

## 【大分類(2)「地域活動等の充実」】

### ＜スポーツ活動＞

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現状と課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症により、大会の中止や活動の休止を余儀なくされ、長期間スポーツに親しむ機会が失われた。</li> <li>・児童生徒数の減少により、少年団活動、部活動の実施、維持が困難となっている。また少人数ゆえ競技の選択肢が無い環境を強いられている。</li> <li>・野球場、テニスコート、プール等の屋外体育施設は総じて老朽化が進んでおり、修繕を行いながら使用している状況である。</li> <li>・屋外体育施設は、ほとんどのものは利用時間が日中となっているため、働いている人には利用が難しい。</li> <li>・学校開放を利用した、スポーツ愛好団体の活動が盛んである。</li> <li>・村内には個人が気軽にトレーニングができる運動施設はなく、ウォーキング、ジョギングなどで体力づくりを行う人が多い。</li> <li>・日常的に運動をする人とそうでない人の差が大きく、運動習慣の無い人に対するきっかけづくりが必要である。</li> <li>・村内では人数や設備が整わず、希望するスポーツができない実態がある。</li> </ul> |
| めざす姿   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツを通じ村民同士が交流し、地域が活性化する村。</li> <li>・日常的にスポーツに親しむ人を増やし、いつまでも生き生きと健康で暮らせる村。</li> <li>・村の自然や特性を活かしたスポーツを奨励し、既存施設の活用やスポーツ愛好団体等の協力を得て、占冠ならではのスポーツ環境を提供する村。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 事業の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・村民の主体的なスポーツ活動を推進し、活動の場や日頃の練習の成果を競い合う場を提供する事業。</li> <li>・村民同士がスポーツを通じ交流をはかる事業。</li> <li>・少年団活動や部活動の実施を支援し、子どもが持つ豊かな資質や能力を育成する事業。</li> <li>・占冠村の豊かな自然環境を活かしたアウトドアスポーツやウィンタースポーツを推奨する事業。</li> <li>・ライフステージに応じあらゆる村民がスポーツを楽しめる機会を創出する事業。</li> <li>・村民の健康づくりにつながるスポーツを推進する事業。</li> <li>・運動習慣の無い人や競技未経験者がスポーツに親しむきっかけを提供する事業。</li> </ul>                                                                                                                                                           |

## ＜スポーツ活動＞

|                 |            |                                        |
|-----------------|------------|----------------------------------------|
| 令和５年度<br>(2023) | 重点事項       |                                        |
|                 | 若しくは具体的事業名 |                                        |
|                 | 成果目標／指標    |                                        |
|                 | 評 価        | 【指標】      実績値                      達成度 |
|                 |            |                                        |
| 令和６年度<br>(2024) | 重点事項       |                                        |
|                 | 若しくは具体的事業名 |                                        |
|                 | 成果目標／指標    |                                        |
|                 | 評 価        | 【指標】      実績値                      達成度 |
|                 |            |                                        |
| 令和７年度<br>(2025) | 重点事項       |                                        |
|                 | 若しくは具体的事業名 |                                        |
|                 | 成果目標／指標    |                                        |
|                 | 評 価        | 【指標】      実績値                      達成度 |
|                 |            |                                        |
| 令和８年度<br>(2026) | 重点事項       |                                        |
|                 | 若しくは具体的事業名 |                                        |
|                 | 成果目標／指標    |                                        |
|                 | 評 価        | 【指標】      実績値                      達成度 |
|                 |            |                                        |
| 令和９年度<br>(2027) | 重点事項       |                                        |
|                 | 若しくは具体的事業名 |                                        |
|                 | 成果目標／指標    |                                        |
|                 | 評 価        | 【指標】      実績値                      達成度 |
|                 |            |                                        |

## 【大分類(3)「社会教育基盤整備」】

|               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>現状と課題</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・村民の多様化するニーズに対応するために実施している「自主創造プログラム」は、約3割の人は参加した経験があるが、6割以上の人は全く参加したことがない。</li> <li>・社会教育施設や社会体育施設は、ほとんどが休日や夜間の利用ができないため、働く世代は利用しにくい。</li> <li>・公民館分館事業は地区により活動に偏りがあり、運営方法の見直しを検討する必要がある。</li> <li>・コミュニティプラザの利用が固定化されており、村民の新たな利用拡大を図るために利用方法の周知や多彩な利用法の提案などが必要である。</li> <li>・毎月図書だよりを発行し、図書室の利用を促進しているが、利用者数が伸び悩んでいる。</li> <li>・公民館事業の周知や各種周知事項が十分に村民にいきわたっておらず、紙媒体での周知にとどまらず、web や SNS による周知を並行して行う必要がある。</li> <li>・地理的要因もあり郷土資料室が村民の目に触れることがあまりなく、展示品の陳列方法にも課題がある。</li> <li>・コロナ禍により「オンライン」が一般化され、今後オンラインを活用した社会教育の実施が期待される。</li> </ul> |
| <p>めざす姿</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・村民の財産である社会教育施設や社会体育施設を、誰もが生涯学習活動の場として気軽に活用できる村。</li> <li>・公民館事業を通して村民同士が共に学び、交流地域コミュニティを活性化させる村。</li> <li>・ひとりひとりが地域資源を有効に活用し、主体的に生涯学習活動に取り組む村</li> <li>・世代や属性の違いを超えて、村民同士が交流できる多様な場や居場所の整備。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>事業の方向性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育施設や社会体育施設を活用し、村民が主体的に生涯学習活動に取り組むことを支援する事業。</li> <li>・年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、あらゆる人が参画できる社会教育の推進。</li> <li>・デジタル技術を活用し、場所や時間の制限を受けない学習基盤の整備。</li> <li>・占冠村の豊かな自然環境や産業、歴史などの地域資源を活用した公民館事業。</li> <li>・知識や技術を有した人材の発掘や育成を行い、村の生涯学習活動の指導者として活躍の場を設定し、学ぶ人と教える人の相互交流を図る事業。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                            |



## ＜社会教育基盤整備＞

|                 |            |              |
|-----------------|------------|--------------|
| 令和5年度<br>(2023) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |            |              |
| 令和6年度<br>(2024) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |            |              |
| 令和7年度<br>(2025) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |            |              |
| 令和8年度<br>(2026) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |            |              |
| 令和9年度<br>(2027) | 重点事項       |              |
|                 | 若しくは具体的事業名 |              |
|                 | 成果目標／指標    |              |
|                 | 評 価        | 【指標】 実績値 達成度 |
|                 |            |              |



# 資料編



# 諮 問 文

令和4年5月23日

占冠村社会教育委員の会  
委員長 安居 明 美 様

占冠村教育委員会教育長 多田 淳史

北海道占冠村第8次社会教育中期計画の策定について  
このことについて、下記理由及び計画期間を付して諮問しますので、答申くださいますよう、お願いいたします。

## 記

### 1 理 由

占冠村の社会教育は、平成30年度より第7次社会教育中期計画に基づき、計画目標である「“占冠愛”を育む生涯学習」の達成に向けた事業を推進してまいりました。

この計画では、占冠村だからこそできる社会教育・生涯学習を推進することで、郷土を愛する心を育み、また住民一人一人が主体的に地域づくりに参画していくことが大切であると考え、村内外の人材や資源を活用し、住民の教養や技術等の能力の向上、各事業の内容や成果が地域に還元されることを目指してきました。

その結果、自主創造プログラムや各種事業等の実施により、生涯学習の基盤整備や学習機会の充実、村民の自発的な学習活動の推進等が成果として現れています。

その一方、人口減少、少子高齢化、担い手不足による地域コミュニティ機能の低下、メディアやインターネットの普及に伴う子どもへの悪影響等多くの課題を抱える時代の中で、持続可能な地域づくり、人材育成を進めていくためには、社会教育に課せられた役割も大きく、一層の社会教育推進体制の強化が重要であります。

こうした現状を踏まえ、これからの占冠村の社会教育に求められている「あるべき姿」を構築するため「占冠村総合計画」との整合性のとれた第8次社会教育中期計画の策定を諮問いたします。

### 2 計画期間

令和5年度から令和9年度までの5ヵ年間

# 答 申 文

令和5年3月31日

占冠村教育委員会  
教育長 多田 淳史 様

占冠村社会教育委員の会  
委員長 安 居 明 美

北海道占冠村第8次社会教育中期計画の策定について（答申）

令和4年5月23日付けで諮問のありました、北海道占冠村第8次社会教育中期計画の策定につきまして、第6次、第7次の計画の構成を踏襲するとともに、村民に対する「村民の社会教育に関する調査」の結果や、これまで実施してきた事業の成果や課題等に基づいて各ジャンル別に検討を重ねてきました。

また、占冠村総合計画、国、道の各種計画等との整合性にも配慮し、今後の占冠村の社会教育の基軸となる計画を策定いたしました。

本計画が今後5年間の本村の社会教育、村民の生涯学習活動を推進するための指針となり、村民が共に学び支え合い、占冠村の村づくり、人づくりへと発展し、村民が地域づくりの主体となり活躍することを期待して、別添計画書のとおり答申いたします。

## ■村民の生涯学習に関する調査結果について【村民用】

占冠村らしい第8次社会教育中期計画の策定に向けて、村民の皆さんを対象に、社会教育や生涯学習についてどのように考えているのか、村及び教育委員会に対してどのようなニーズや考えを持っているのかを把握すべく、調査を実施しました。

|       |                                                                                     |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査の対象 | 13歳（中学生）以上で占冠村に住民登録をされている方を                                                         |
| 調査期間  | 令和4年8月1日～令和4年8月31日                                                                  |
| 配布・回収 | 配布：調査母体 1,166人（調査対象 1,174人に郵送等で調査票を配布したうち、宛て先不明で返送された8通を除く）<br>回収：269人 【回収率 23.07%】 |

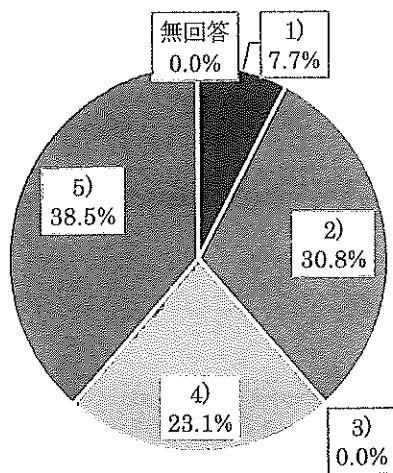
### ◆調査票回収状況

【人・%】

| 項目    | 調査対象者数 | 回答者数 | 回答率   |
|-------|--------|------|-------|
| 男女別   | 1,166  | 269  | 23.05 |
| 男     | 568    | 149  | 26.2  |
| 女     | 598    | 116  | 19.4  |
| (無回答) |        | 4    |       |
| 年代別   | 1,166  | 269  | 23.05 |
| 10歳代  | 45     | 7    | 15.6  |
| 20歳代  | 210    | 23   | 11.0  |
| 30歳代  | 184    | 36   | 19.6  |
| 40歳代  | 165    | 38   | 23.0  |
| 50歳代  | 167    | 43   | 25.7  |
| 60歳代  | 143    | 46   | 32.2  |
| 70歳代  | 140    | 43   | 30.7  |
| 80歳代  | 90     | 22   | 24.4  |
| 90歳代  | 22     | 6    | 27.3  |
| (無回答) |        | 5    |       |
| 地区別   | 1,166  | 269  | 23.1  |
| 双珠別   | 41     | 7    | 17.1  |
| 中央    | 595    | 168  | 28.2  |
| 占冠    | 81     | 34   | 42.0  |
| トマム   | 449    | 58   | 12.9  |
| (無回答) |        | 2    |       |

◆代理回答のお願い

ひとりでも多くの村民のお考えを知りたく、13歳以上の村民の方でご本人が不在の場合は、ご本人に代わってお答え願います。該当する番号に1つだけ○を付けてください。その他の場合は、その内容をお書きください。 【人・%】

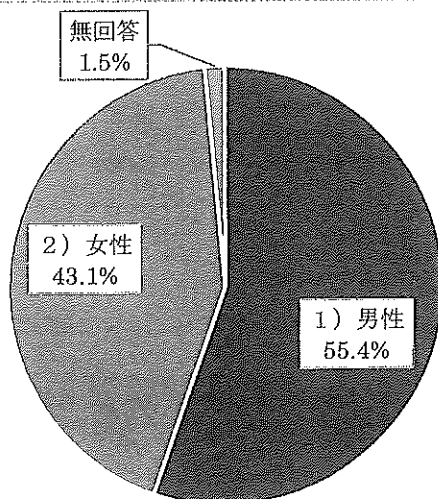


| 回 答                                       | 回答数 | 割 合  |
|-------------------------------------------|-----|------|
| 1) 占冠村民であるが、高校又は大学に通学するため村外に居住している        | 1   | 7.7  |
| 2) 占冠村民であるが、仕事の都合上村外に居住している               | 4   | 30.8 |
| 3) 占冠村民であるが、現在村外の病院に入院中である                | 0   | 0    |
| 4) 占冠村民であるが、現在、村外の高齢者施設（老人ホームなど）などに入所中である | 3   | 23.1 |
| 5) その他                                    | 5   | 38.5 |
| 合 計                                       | 13  | 100  |

代理回答の理由で最も多かったのは「その他」で38.5%、次いで「仕事の都合上」で30.8%、「高齢者施設などに入所中」が23.1%、「通学のため」7.7%という回答となりました。

項目1 あなた自身のことについて

問1 あなたの性別について該当する番号に○を付けてください。



【人・%】

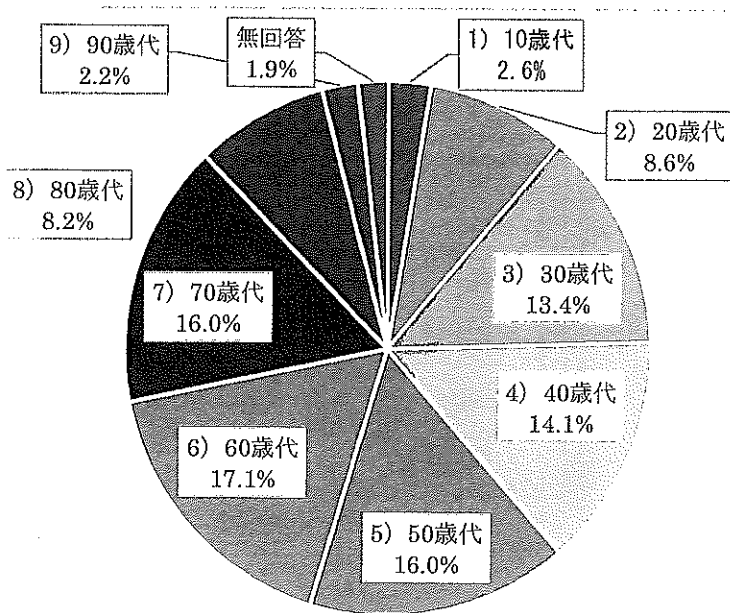
| 回 答   | 回答数 | 割 合   |
|-------|-----|-------|
| 1) 男性 | 149 | 55.4% |
| 2) 女性 | 116 | 43.1% |
| 無回答   | 4   | 1.5%  |
| 合 計   | 269 | 100%  |

「男性」が149人（55.4%）、「女性」が116人（43.1%）、「無回答」が4人（1.5%）という結果となりました。



問2 あなたの年齢について該当する番号に○を付けてください。

【人・%】

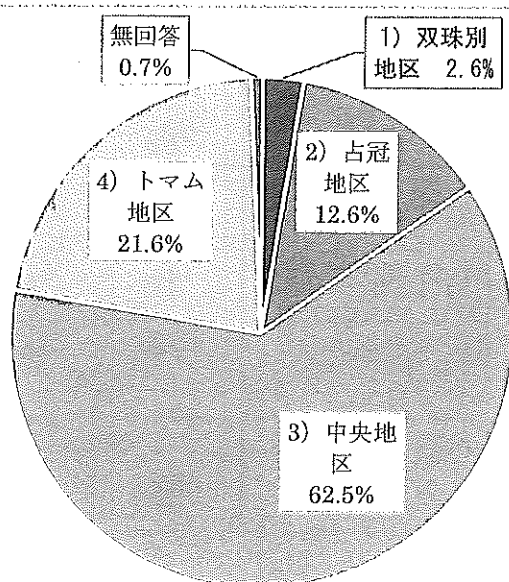


| 回 答      | 回答数 | 割 合  |
|----------|-----|------|
| 1) 10 歳代 | 7   | 2.6  |
| 2) 20 歳代 | 23  | 8.6  |
| 3) 30 歳代 | 36  | 13.4 |
| 4) 40 歳代 | 38  | 14.1 |
| 5) 50 歳代 | 43  | 16.0 |
| 6) 60 歳代 | 46  | 17.1 |
| 7) 70 歳代 | 43  | 16.0 |
| 8) 80 歳代 | 22  | 8.2  |
| 9) 90 歳代 | 6   | 2.2  |
| 無回答      | 5   | 1.9  |
| 合 計      | 269 | 100  |

「60歳代」が一番多く17.1%となりましたが、「50歳代」「70歳代」16.0%、「40歳代」14.1%、「30歳代」13.4%と、回答者の年齢は30歳代～70歳代までほぼ同じ割合となりました。

問3 あなたのお住まいの地区について該当する番号に○を付けてください。

【人・%】

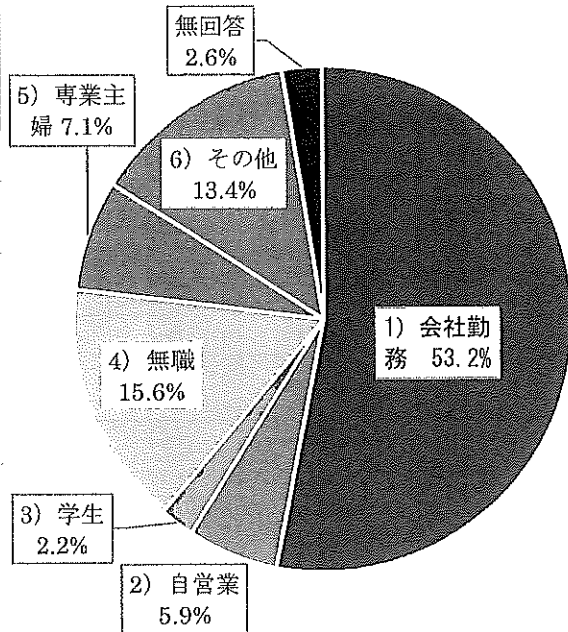


| 回 答      | 回答数 | 割 合  |
|----------|-----|------|
| 1) 双珠別地区 | 7   | 2.6  |
| 2) 占冠地区  | 34  | 12.6 |
| 3) 中央地区  | 168 | 62.5 |
| 4) トナム地区 | 58  | 21.6 |
| 無回答      | 2   | 0.7  |
| 合 計      | 269 | 100  |

「中央地区」が62.5%、次に「トナム地区」21.6%、「占冠地区」12.6%、「双珠別地区」2.6%となりました。

問4 あなたの仕事について該当する番号に○を付けてください。

【人・%】

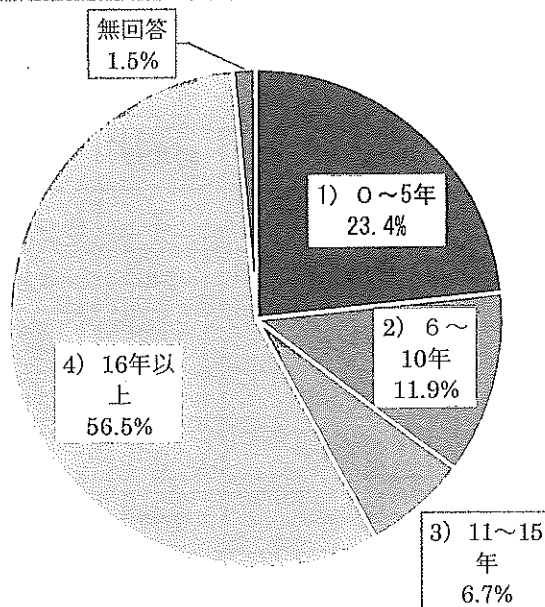


| 回 答      | 回答数 | 割 合  |
|----------|-----|------|
| 1) 会社等勤務 | 143 | 53.2 |
| 2) 自営業   | 16  | 5.9  |
| 3) 学生    | 6   | 2.2  |
| 4) 無職    | 42  | 15.6 |
| 5) 専業主婦  | 19  | 7.1  |
| 6) その他   | 36  | 13.4 |
| 無回答      | 7   | 2.6  |
| 合 計      | 269 | 100  |

「会社等に勤務」の方が最も多く 53.2%、次いで「無職」15.6%、「その他」13.4%、「専業主婦」7.1%という結果となりました。

問5 占冠村に居住してからの年数について該当する番号に○を付けてください。

【人・%】



| 回 答        | 回答数 | 割 合  |
|------------|-----|------|
| 1) 0年～5年   | 63  | 23.4 |
| 2) 6年～10年  | 32  | 11.9 |
| 3) 11年～15年 | 18  | 6.7  |
| 4) 16年以上   | 152 | 56.5 |
| 無回答        | 4   | 1.5  |
| 合 計        | 269 | 100  |

半数以上の方が「16年以上」と回答し (56.5%)、次いで「0～5年」23.4%、「6年～10年」11.9%、「11年～15年」6.7%という結果となりました。

項目2 お住まいの地域に対する「郷土愛」について

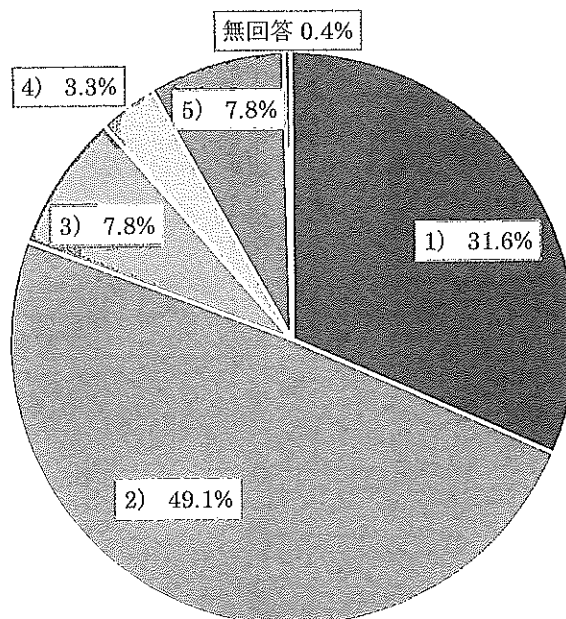
「“しむかっぶ愛”を育む生涯学習」を第7次占冠村中期計画（H30～H34）の計画目標として社会教育を推進してまいりました。

そこで、あなたのお住まいの地域に対する「郷土愛」についてお聞きます。

問6 お住まいの地域に愛着を感じますか。該当する番号に1つだけ○を付けてください。

【人・％】

| 回 答             | 回答数 | 割 合  |
|-----------------|-----|------|
| 1) とても感じる       | 85  | 31.6 |
| 2) どちらかといえば感じる  | 132 | 49.1 |
| 3) どちらかといえば感じない | 21  | 7.8  |
| 4) 感じない         | 9   | 3.3  |
| 5) わからない        | 21  | 7.8  |
| 無回答             | 1   | 0.4  |
| 合 計             | 269 | 100  |

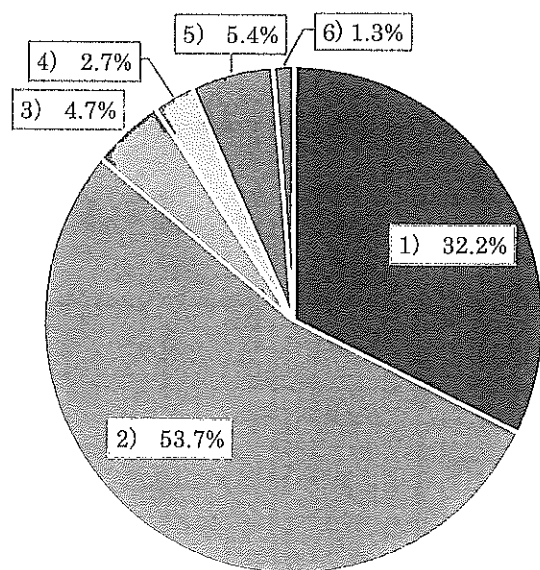


「とても感じる」「どちらかといえば感じる」と回答された方は合わせて80.7%、「どちらかといえば感じない」「感じない」と回答された方は合わせて11.1%という結果となりました。

◇男女別

【男性】

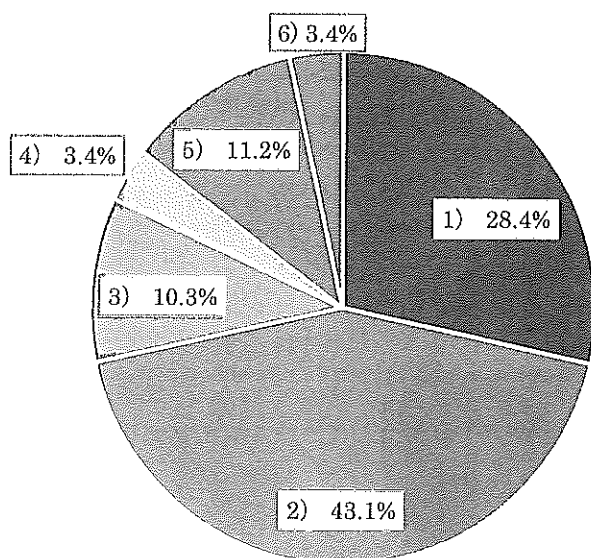
【人・%】



| 回 答             | 回答数 | 割 合  |
|-----------------|-----|------|
| 1) とても感じる       | 48  | 32.2 |
| 2) どちらかといえば感じる  | 80  | 53.7 |
| 3) どちらかといえば感じない | 7   | 4.7  |
| 4) 感じない         | 4   | 2.7  |
| 5) わからない        | 8   | 5.4  |
| 無回答             | 2   | 1.3  |
| 合 計             | 149 | 100  |

【女性】

【人・%】

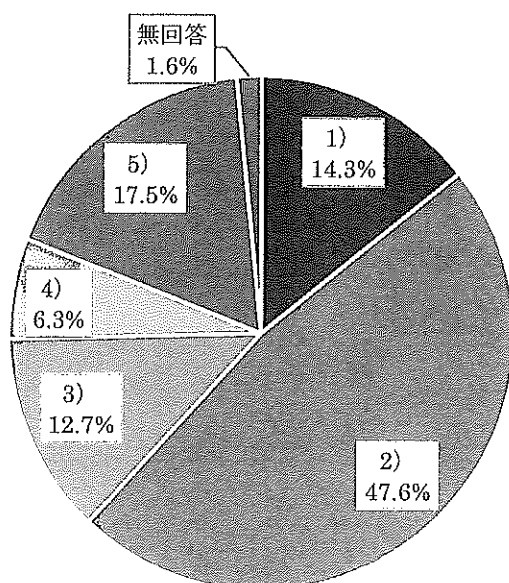


| 回 答             | 回答数 | 割 合  |
|-----------------|-----|------|
| 1) とても感じる       | 33  | 28.4 |
| 2) どちらかといえば感じる  | 50  | 43.1 |
| 3) どちらかといえば感じない | 12  | 10.3 |
| 4) 感じない         | 4   | 3.4  |
| 5) わからない        | 13  | 11.2 |
| 無回答             | 4   | 3.4  |
| 合 計             | 116 | 100  |

男女で比較すると、「とても感じる」「どちらかといえば感じる」と回答された方は、男性が85.9%だったのに対し、女性は71.5%、「どちらかといえば感じない」「感じない」と回答された方は、男性が7.4%だったのに対し、女性は13.7%と、男性の方が地域への愛着を感じる人が多いという結果となりました。

◇居住年数別  
【0～5年】

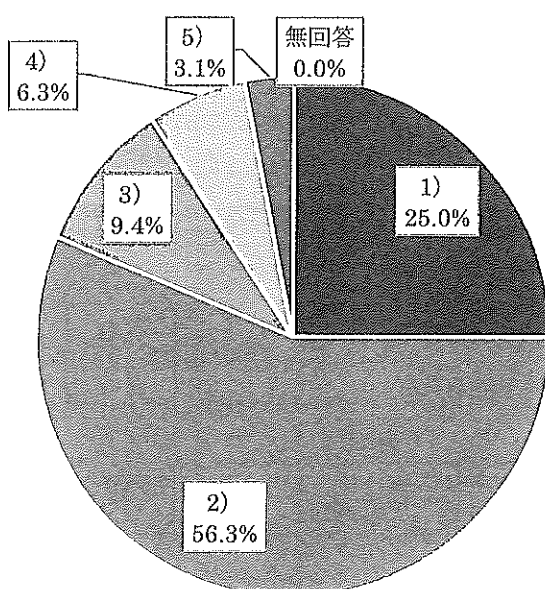
【人・%】



| 回 答             | 回答数 | 割 合  |
|-----------------|-----|------|
| 1) とても感じる       | 9   | 14.3 |
| 2) どちらかといえば感じる  | 30  | 47.6 |
| 3) どちらかといえば感じない | 8   | 12.7 |
| 4) 感じない         | 4   | 6.3  |
| 5) わからない        | 11  | 17.5 |
| 無回答             | 1   | 1.6  |
| 合 計             | 63  | 100  |

【6～10年】

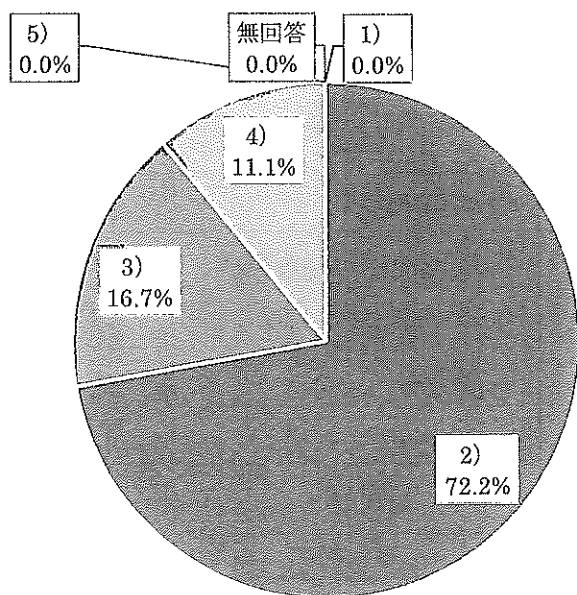
【人・%】



| 回 答             | 回答数 | 割 合  |
|-----------------|-----|------|
| 1) とても感じる       | 8   | 25.0 |
| 2) どちらかといえば感じる  | 18  | 56.3 |
| 3) どちらかといえば感じない | 3   | 9.4  |
| 4) 感じない         | 2   | 6.3  |
| 5) わからない        | 1   | 3.1  |
| 無回答             | 0   | 0.0  |
| 合 計             | 32  | 100  |

【11～15年】

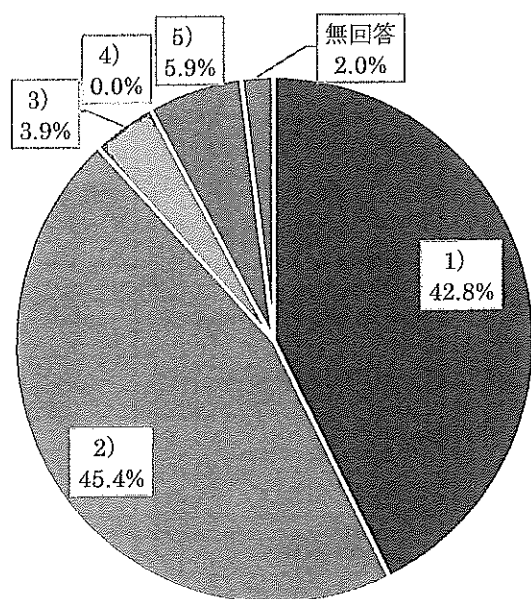
【人・%】



| 回 答             | 回答数 | 割 合  |
|-----------------|-----|------|
| 1) とても感じる       | 0   | 0    |
| 2) どちらかといえば感じる  | 13  | 72.2 |
| 3) どちらかといえば感じない | 3   | 16.7 |
| 4) 感じない         | 2   | 11.1 |
| 5) わからない        | 0   | 0    |
| 無回答             | 0   | 0    |
| 合 計             | 18  | 100  |

【16年以上】

【人・%】



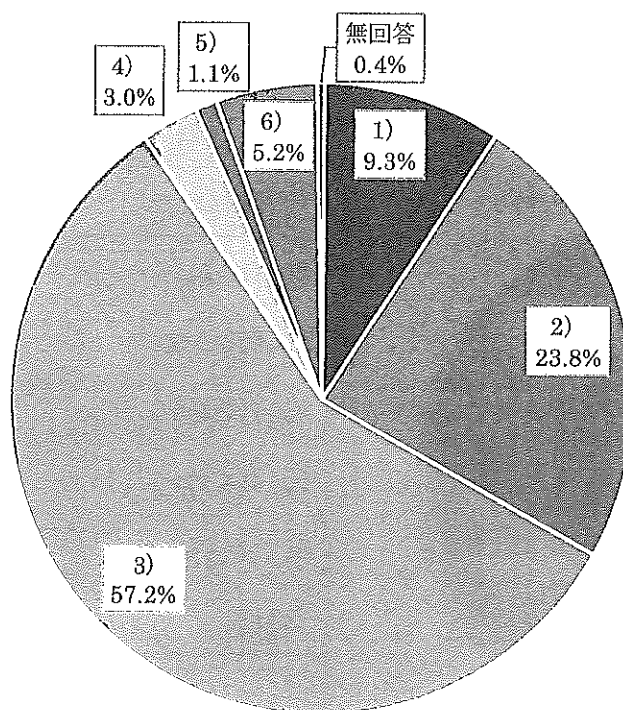
| 回 答             | 回答数 | 割 合  |
|-----------------|-----|------|
| 1) とても感じる       | 65  | 42.8 |
| 2) どちらかといえば感じる  | 69  | 45.4 |
| 3) どちらかといえば感じない | 6   | 3.9  |
| 4) 感じない         | 0   | 0    |
| 5) わからない        | 9   | 5.9  |
| 無回答             | 3   | 2.0  |
| 合 計             | 152 | 100  |

居住年数で比較すると、「とても感じる」「どちらかといえば感じる」と回答された方が一番多いのは、「16年以上」の方で88.2%でした。一番少なかったのは、「0～5年」の61.9%でした。ただし「6～10年」では「とても感じる」「どちらかといえば感じる」が81.3%なのに対し、「11～15年」は72.2%（「とても感じる」は0%）と減少しているので、居住年数が長い方が愛着が強くなるとは必ずしも言えない結果となりました。

問7 以前に比べ地域への愛着に変化があったと感じますか。該当する番号に1つだけ○を付けてください。

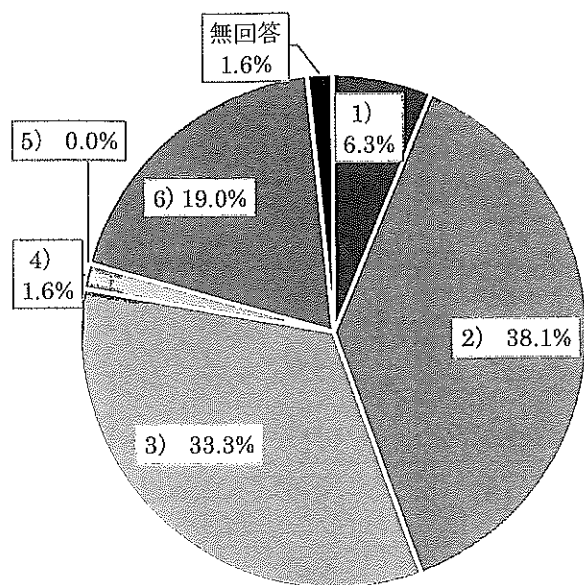
【人・％】

| 回 答        | 回答数 | 割 合  |
|------------|-----|------|
| 1) 強くなった   | 25  | 9.3  |
| 2) やや強くなった | 64  | 23.8 |
| 3) 変わらない   | 154 | 57.2 |
| 4) やや弱くなった | 8   | 3.0  |
| 5) 弱くなった   | 3   | 1.1  |
| 6) わからない   | 14  | 5.2  |
| 無回答        | 1   | 0.4  |
| 合 計        | 269 | 100  |



地域への愛着の変化について、「変わらない」と回答された方が最も多く 57.2%、次いで「やや強くなった」23.8%、「強くなった」9.3%という結果となりました。

◇居住年数別  
【0～5年】

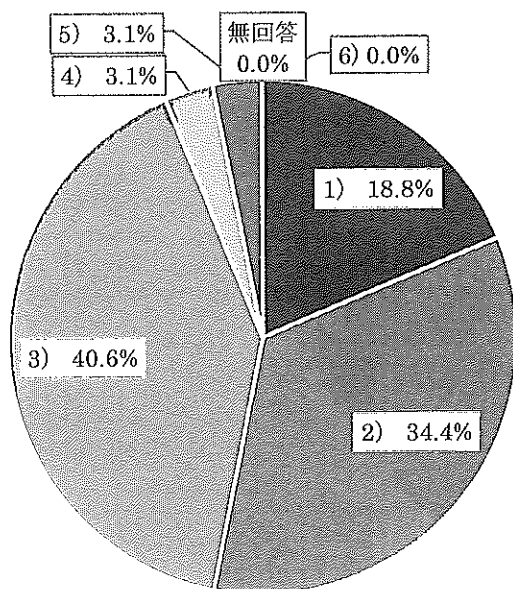


【人・%】

| 回 答        | 回答数 | 割 合  |
|------------|-----|------|
| 1) 強くなった   | 4   | 6.5  |
| 2) やや強くなった | 24  | 38.7 |
| 3) 変わらない   | 21  | 33.9 |
| 4) やや弱くなった | 1   | 1.6  |
| 5) 弱くなった   | 0   | 0    |
| 6) わからない   | 12  | 19.4 |
| 無回答        | 1   | 1.6  |
| 合 計        | 63  | 100  |

【人・%】

【6～10年】

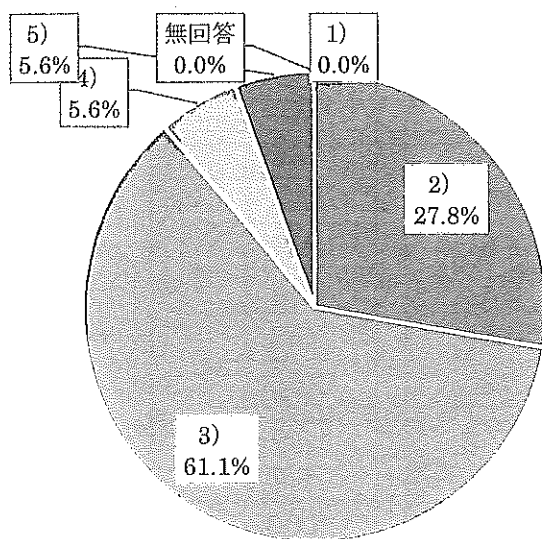


| 回 答        | 回答数 | 割 合  |
|------------|-----|------|
| 1) 強くなった   | 6   | 18.8 |
| 2) やや強くなった | 11  | 34.4 |
| 3) 変わらない   | 13  | 40.6 |
| 4) やや弱くなった | 1   | 3.1  |
| 5) 弱くなった   | 1   | 3.1  |
| 6) わからない   | 0   | 0    |
| 無回答        | 0   | 0    |
| 合 計        | 32  | 100  |



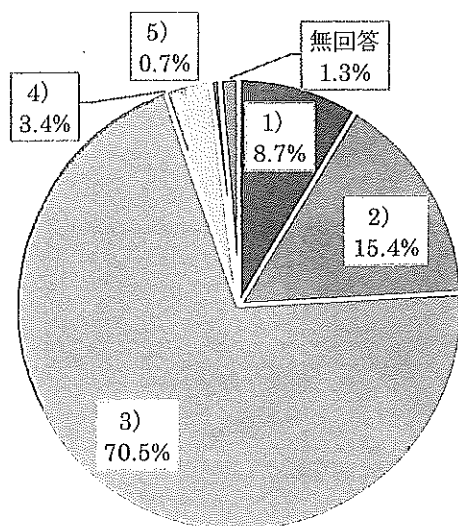
【人・%】

【11～15年】



| 回 答        | 回答数 | 割 合  |
|------------|-----|------|
| 1) 強くなった   | 0   | 0    |
| 2) やや強くなった | 5   | 27.8 |
| 3) 変わらない   | 11  | 61.1 |
| 4) やや弱くなった | 1   | 5.6  |
| 5) 弱くなった   | 1   | 5.6  |
| 6) わからない   | 0   | 0    |
| 無回答        | 0   | 0    |
| 合 計        | 18  | 100  |

【16年以上】



【人・%】

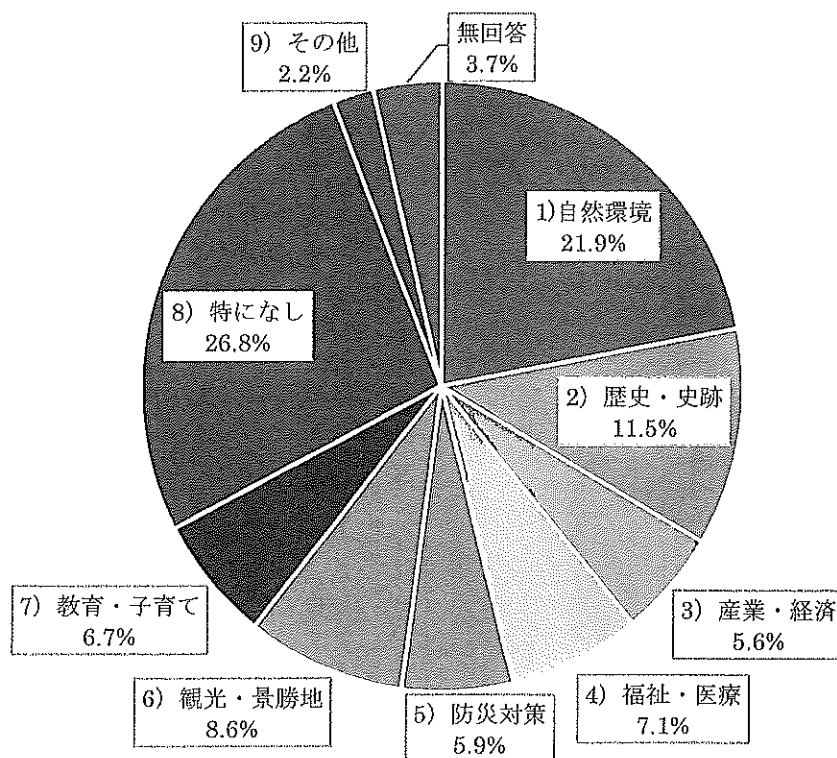
| 回 答        | 回答数 | 割 合  |
|------------|-----|------|
| 1) 強くなった   | 13  | 8.7  |
| 2) やや強くなった | 23  | 15.4 |
| 3) 変わらない   | 105 | 70.5 |
| 4) やや弱くなった | 5   | 3.4  |
| 5) 弱くなった   | 1   | 0.7  |
| 6) わからない   | 0   | 0    |
| 無回答        | 2   | 1.3  |
| 合 計        | 149 | 100  |

愛着の変化が「強くなった」「やや強くなった」という回答が最も多いのが「6～10年」で51.2%、次いで「0～5年」45.2%となり、居住年数が短いほど地域への愛着の変化が強くなり、11年以上経過すると培われた愛着心は変わらない（「11～15年」61.1%、「16年以上」70.5%）という傾向が見られます。

問8 占冠村に関して学びたいことはありますか。該当する番号に1つだけ○を付けてください。

【人・%】

| 回 答      | 回答数 | 割 合  |
|----------|-----|------|
| 1)自然環境   | 59  | 21.9 |
| 2)歴史・史跡  | 31  | 11.5 |
| 3)産業・経済  | 15  | 5.6  |
| 4)福祉・医療  | 19  | 7.1  |
| 5)防災対策   | 16  | 5.9  |
| 6)観光・景勝地 | 23  | 8.6  |
| 7)教育・子育て | 18  | 6.7  |
| 8)特になし   | 72  | 26.8 |
| 9)その他    | 6   | 2.2  |
| 無回答      | 10  | 3.7  |
| 合 計      | 269 | 100  |



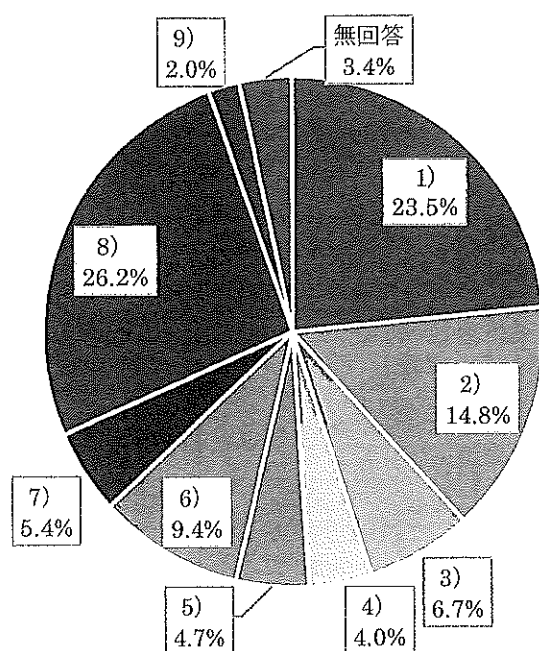
【その他の内容】※原文のまま記載しています。

- ・受け入れ可能な人口。
- ・文化、芸術(とくに文学、絵画)

「特になし」と回答された方が最も多かった(26.8%)ですが、次いで「自然環境」21.9%、「歴史・史跡」11.5%、「観光・景勝地」8.6%という結果になりました。

◇男女別

【男性】

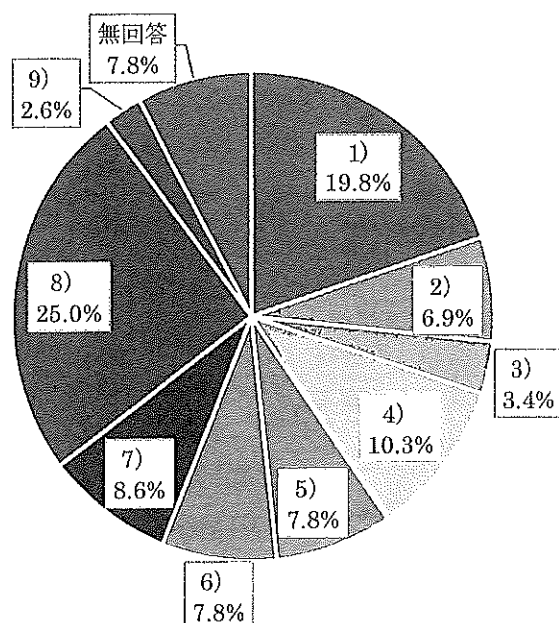


【人・%】

| 回 答       | 回答数 | 割 合  |
|-----------|-----|------|
| 1) 自然環境   | 35  | 23.5 |
| 2) 歴史・史跡  | 22  | 14.8 |
| 3) 産業・経済  | 10  | 6.7  |
| 4) 福祉・医療  | 6   | 4.0  |
| 5) 防災対策   | 7   | 4.7  |
| 6) 観光・景勝地 | 14  | 9.4  |
| 7) 教育・子育て | 8   | 5.4  |
| 8) 特になし   | 39  | 26.2 |
| 9) その他    | 3   | 2.0  |
| 無回答       | 5   | 3.4  |
| 合 計       | 149 | 100  |

【女性】

【人・%】

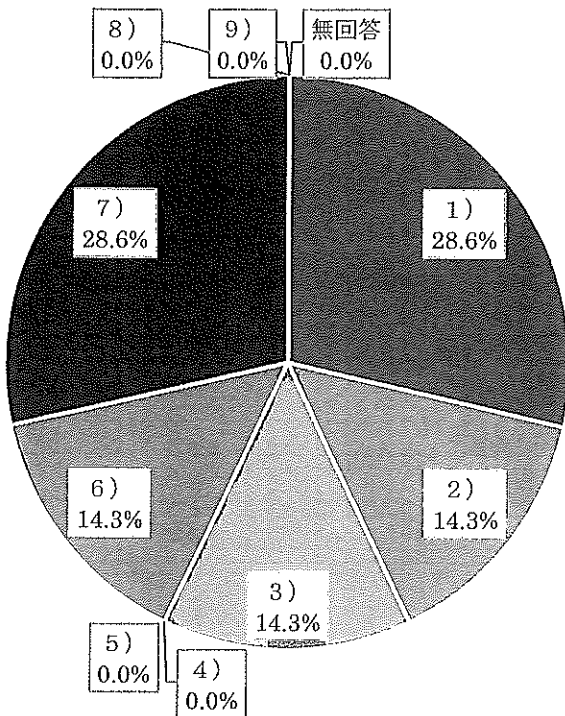


| 回 答       | 回答数 | 割 合  |
|-----------|-----|------|
| 1) 自然環境   | 23  | 19.8 |
| 2) 歴史・史跡  | 8   | 6.9  |
| 3) 産業・経済  | 4   | 3.4  |
| 4) 福祉・医療  | 12  | 10.3 |
| 5) 防災対策   | 9   | 7.8  |
| 6) 観光・景勝地 | 9   | 7.8  |
| 7) 教育・子育て | 10  | 8.6  |
| 8) 特になし   | 29  | 25.0 |
| 9) その他    | 3   | 2.6  |
| 無回答       | 9   | 7.8  |
| 合 計       | 116 | 100  |

男女別でもそれぞれ「特になし」が最も多く、次いで「自然環境」となりました。  
 それ以降は男性は「歴史・史跡」(14.8%)、「観光・景勝地」(9.4%)であるのに対し、女性は「福祉・医療」(10.3%)、「教育・子育て」(8.6%)と、男女で学びたい内容に違いが出ています。

◇年齢別

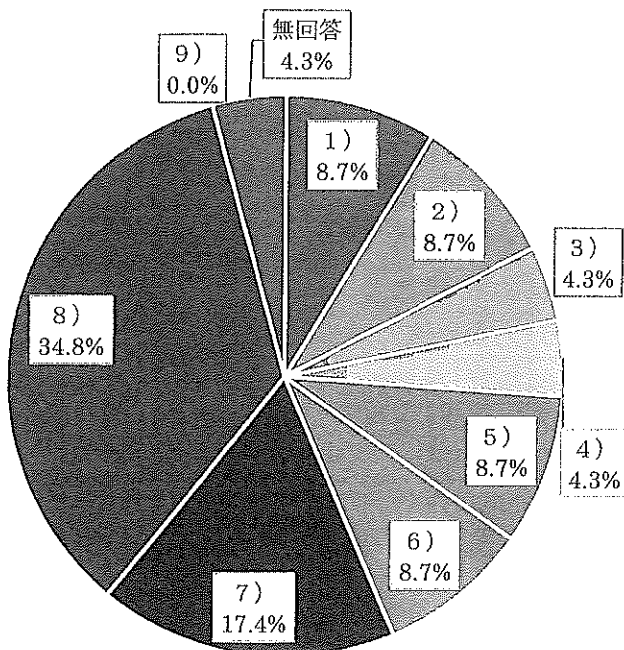
【10歳代】



【人・%】

| 回 答       | 回答数 | 割 合  |
|-----------|-----|------|
| 1) 自然環境   | 2   | 28.6 |
| 2) 歴史・史跡  | 1   | 14.3 |
| 3) 産業・経済  | 1   | 14.3 |
| 4) 福祉・医療  | 0   | 0    |
| 5) 防災対策   | 0   | 0    |
| 6) 観光・景勝地 | 1   | 14.3 |
| 7) 教育・子育て | 2   | 28.6 |
| 8) 特になし   | 0   | 0    |
| 9) その他    | 0   | 0    |
| 無回答       | 0   | 0    |
| 合計        | 7   | 100  |

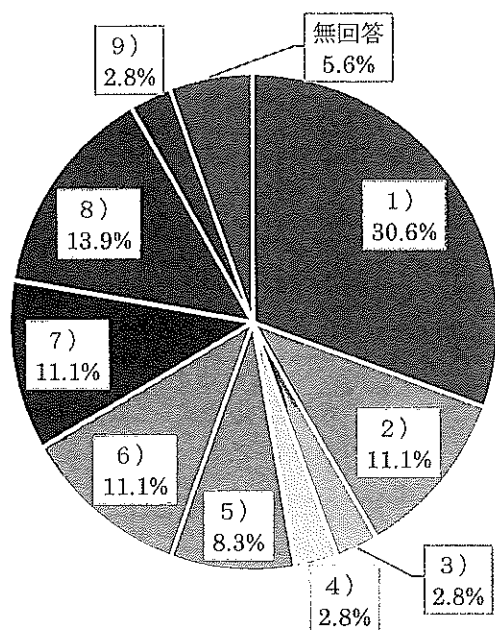
【20歳代】



【人・%】

| 回 答       | 回答数 | 割 合  |
|-----------|-----|------|
| 1) 自然環境   | 2   | 8.7  |
| 2) 歴史・史跡  | 2   | 8.7  |
| 3) 産業・経済  | 1   | 4.3  |
| 4) 福祉・医療  | 1   | 4.3  |
| 5) 防災対策   | 2   | 8.7  |
| 6) 観光・景勝地 | 2   | 8.7  |
| 7) 教育・子育て | 4   | 17.4 |
| 8) 特になし   | 8   | 34.8 |
| 9) その他    | 0   | 0    |
| 無回答       | 1   | 4.3  |
| 合計        | 23  | 100  |

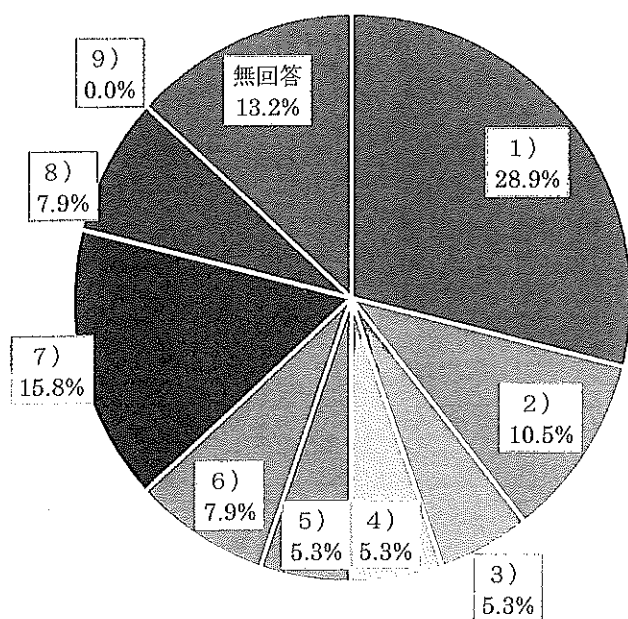
【30歳代】



【人・%】

| 回 答      | 回答数 | 割 合  |
|----------|-----|------|
| 1)自然環境   | 11  | 30.6 |
| 2)歴史・史跡  | 4   | 11.1 |
| 3)産業・経済  | 1   | 2.8  |
| 4)福祉・医療  | 1   | 2.8  |
| 5)防災対策   | 3   | 8.3  |
| 6)観光・景勝地 | 4   | 11.1 |
| 7)教育・子育て | 4   | 11.1 |
| 8)特になし   | 5   | 13.9 |
| 9)その他    | 1   | 2.8  |
| 無回答      | 2   | 5.6  |
| 合計       | 36  | 100  |

【40歳代】

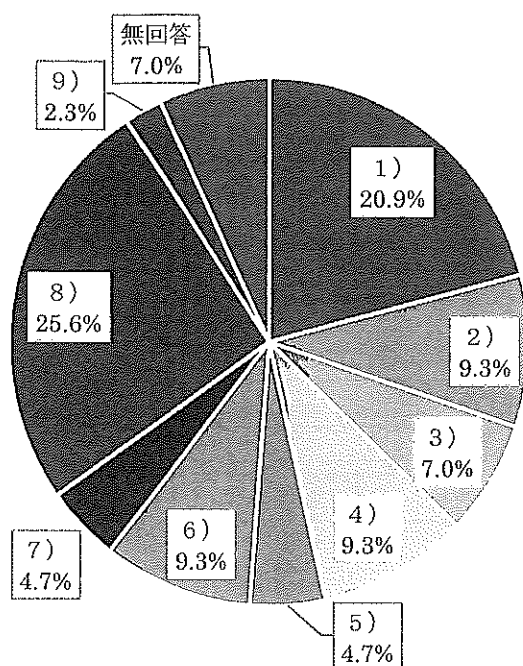


【人・%】

| 回 答      | 回答数 | 割 合  |
|----------|-----|------|
| 1)自然環境   | 11  | 28.9 |
| 2)歴史・史跡  | 4   | 10.5 |
| 3)産業・経済  | 2   | 5.3  |
| 4)福祉・医療  | 2   | 5.3  |
| 5)防災対策   | 2   | 5.3  |
| 6)観光・景勝地 | 3   | 7.9  |
| 7)教育・子育て | 6   | 15.8 |
| 8)特になし   | 3   | 7.9  |
| 9)その他    | 0   | 0    |
| 無回答      | 5   | 13.2 |
| 合計       | 38  | 100  |

【50歳代】

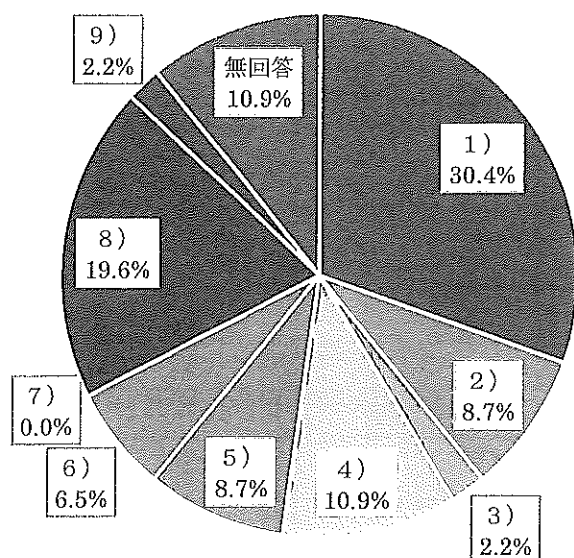
【人・%】



| 回 答      | 回答数 | 割 合  |
|----------|-----|------|
| 1)自然環境   | 9   | 20.9 |
| 2)歴史・史跡  | 4   | 9.3  |
| 3)産業・経済  | 3   | 7.0  |
| 4)福祉・医療  | 4   | 9.3  |
| 5)防災対策   | 2   | 4.7  |
| 6)観光・景勝地 | 4   | 9.3  |
| 7)教育・子育て | 2   | 4.7  |
| 8)特になし   | 11  | 25.6 |
| 9)その他    | 1   | 2.3  |
| 無回答      | 3   | 7.0  |
| 合計       | 43  | 100  |

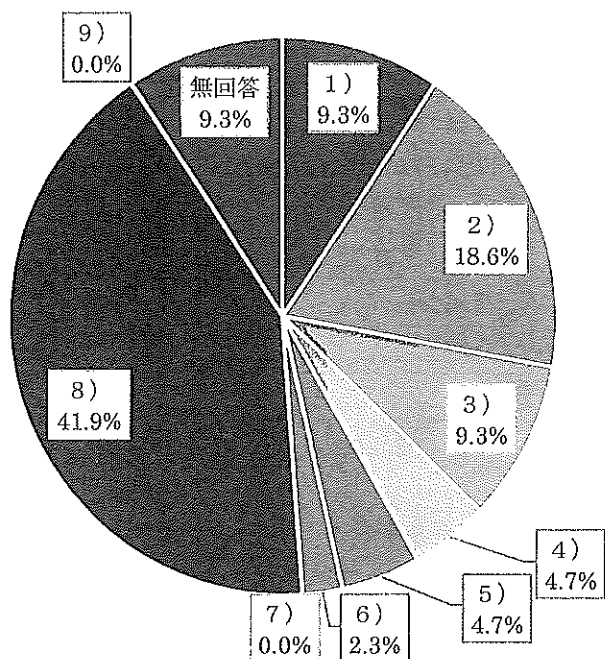
【60歳代】

【人・%】



| 回 答      | 回答数 | 割 合  |
|----------|-----|------|
| 1)自然環境   | 14  | 30.4 |
| 2)歴史・史跡  | 4   | 8.7  |
| 3)産業・経済  | 1   | 2.2  |
| 4)福祉・医療  | 5   | 10.9 |
| 5)防災対策   | 4   | 8.7  |
| 6)観光・景勝地 | 3   | 6.5  |
| 7)教育・子育て | 0   | 0    |
| 8)特になし   | 9   | 19.6 |
| 9)その他    | 1   | 2.2  |
| 無回答      | 5   | 10.9 |
| 合計       | 46  | 100  |

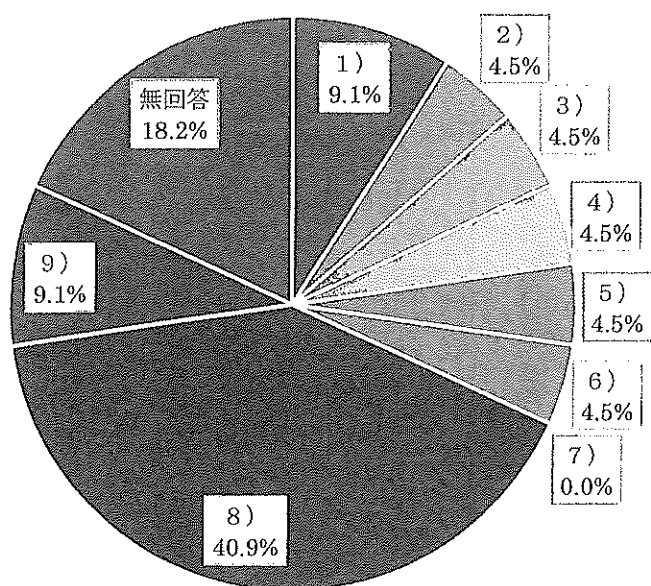
【70歳代】



【人・%】

| 回 答      | 回答数 | 割 合  |
|----------|-----|------|
| 1)自然環境   | 4   | 9.3  |
| 2)歴史・史跡  | 8   | 18.6 |
| 3)産業・経済  | 4   | 9.3  |
| 4)福祉・医療  | 2   | 4.7  |
| 5)防災対策   | 2   | 4.7  |
| 6)観光・景勝地 | 1   | 2.3  |
| 7)教育・子育て | 0   | 0    |
| 8)特になし   | 18  | 41.9 |
| 9)その他    | 0   | 0    |
| 無回答      | 4   | 9.3  |
| 合計       | 46  | 100  |

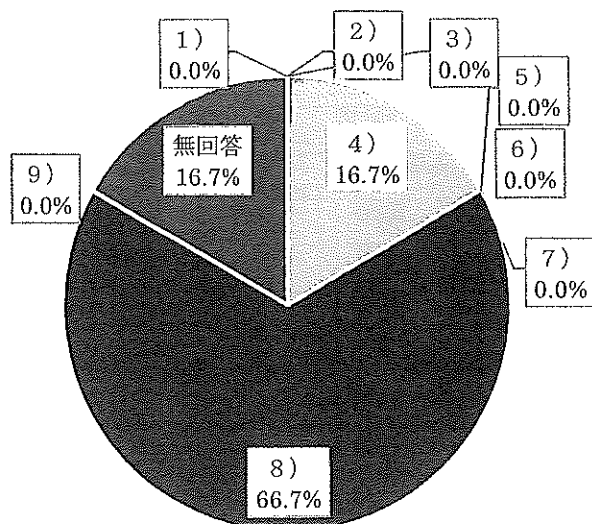
【80歳代】



【人・%】

| 回 答      | 回答数 | 割 合  |
|----------|-----|------|
| 1)自然環境   | 2   | 9.1  |
| 2)歴史・史跡  | 1   | 4.5  |
| 3)産業・経済  | 1   | 4.5  |
| 4)福祉・医療  | 1   | 4.5  |
| 5)防災対策   | 1   | 4.5  |
| 6)観光・景勝地 | 1   | 4.5  |
| 7)教育・子育て | 0   | 0    |
| 8)特になし   | 9   | 40.9 |
| 9)その他    | 2   | 9.1  |
| 無回答      | 4   | 18.2 |
| 合計       | 22  | 100  |

【90歳代】



【人・%】

| 回 答       | 回答数 | 割 合  |
|-----------|-----|------|
| 1) 自然環境   | 0   | 0    |
| 2) 歴史・史跡  | 0   | 0    |
| 3) 産業・経済  | 0   | 0    |
| 4) 福祉・医療  | 1   | 16.7 |
| 5) 防災対策   | 0   | 0    |
| 6) 観光・景勝地 | 0   | 0    |
| 7) 教育・子育て | 0   | 0    |
| 8) 特になし   | 4   | 66.7 |
| 9) その他    | 0   | 0    |
| 無回答       | 1   | 16.7 |
| 合 計       | 6   | 100  |

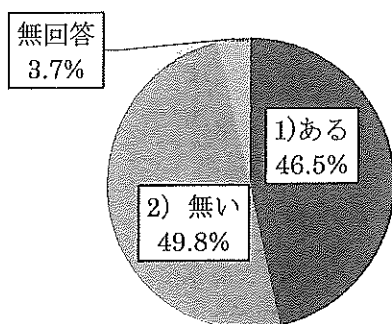
年齢別でみると、70歳代を超えると学びたいことは「特になし」とする人たちが多くなっています。しかし20歳代でも「特になし」が34.8%と、高年齢層に次いで多くなっています。また、10歳代、30歳代、40歳代、60歳代ではそれぞれ30%前後の人が「自然環境」を学びたいと回答しています。

### 項目3 生涯学習に関して

#### 生涯学習とは

生涯にわたって行う学習活動のことで、家庭・学校・職場・地域社会で行われる全ての学習を生涯学習ととらえることができます。また、スポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動の中でも生涯学習は行われます。

問9 この1年間に学校以外の生涯学習活動に参加したことがありますか。



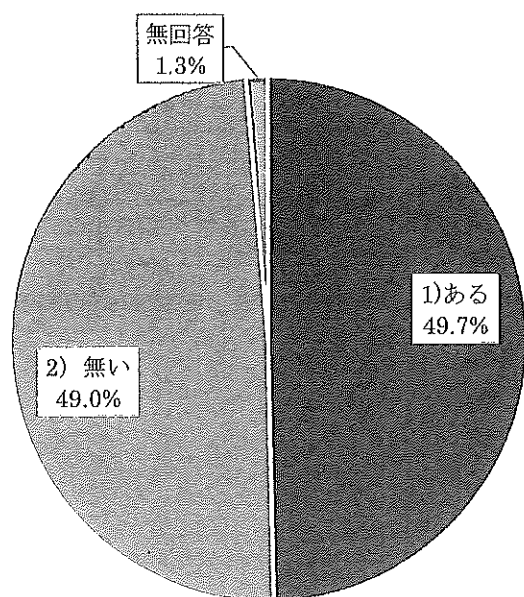
【人・%】

| 回 答   | 回答数 | 割合   |
|-------|-----|------|
| 1) ある | 125 | 46.5 |
| 2) 無い | 134 | 49.8 |
| 無回答   | 10  | 3.7  |
| 合 計   | 269 | 100  |

「ある」「無い」はほぼ同数となりましたが、「無い」と答えた方が49.8%とやや「ある」(46.5%)を上回りました。



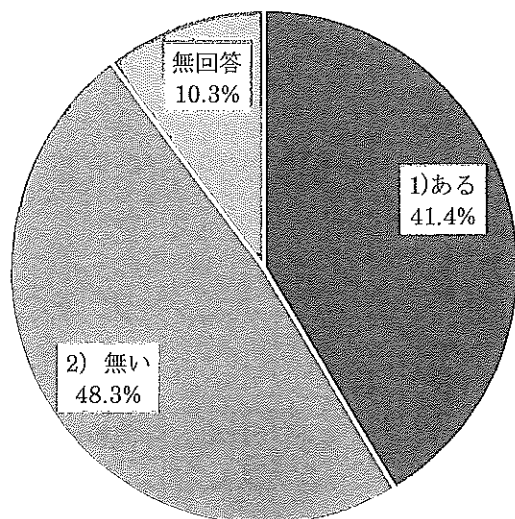
◇男女別  
【男性】



【人・%】

| 回 答  | 回答数 | 割合   |
|------|-----|------|
| 1)ある | 74  | 49.7 |
| 2)無い | 173 | 49.0 |
| 無回答  | 2   | 1.3  |
| 合 計  | 149 | 100  |

【女性】

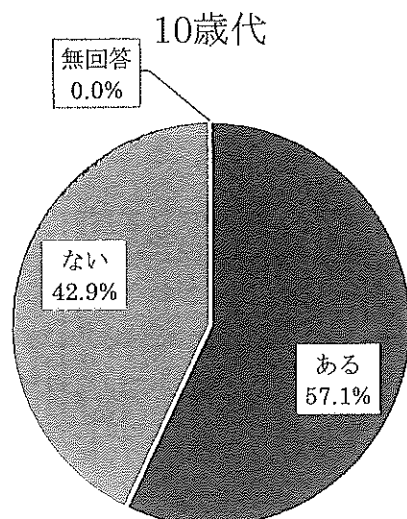


【人・%】

| 回 答  | 回答数 | 割合   |
|------|-----|------|
| 1)ある | 48  | 41.4 |
| 2)無い | 56  | 48.3 |
| 無回答  | 12  | 10.3 |
| 合 計  | 116 | 100  |

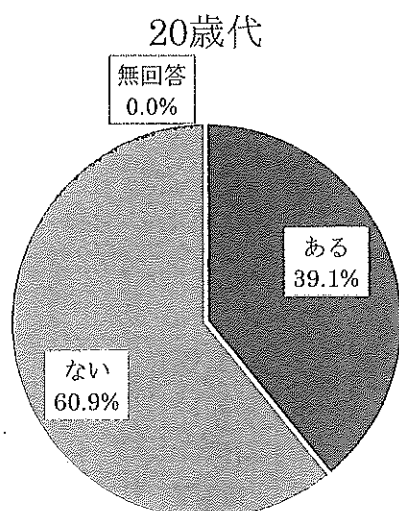
男女別でみると、男性は「ある」「無い」がほぼ同じで半々となっているが、女性は無回答が多く「ある」と回答した人は41.4%でした。

◇年齢別



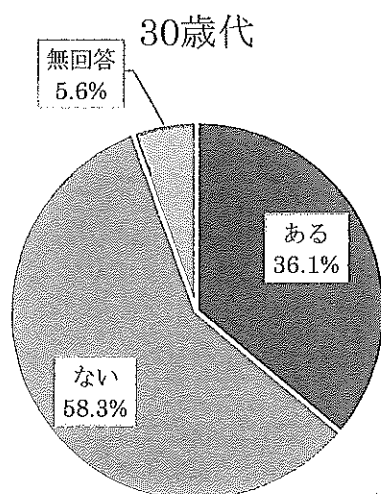
【人・%】

| 回 答  | 回答数 | 割合   |
|------|-----|------|
| 1)ある | 4   | 57.1 |
| 2)無い | 3   | 42.2 |
| 無回答  | 0   | 0    |
| 合 計  | 7   | 100  |



【人・%】

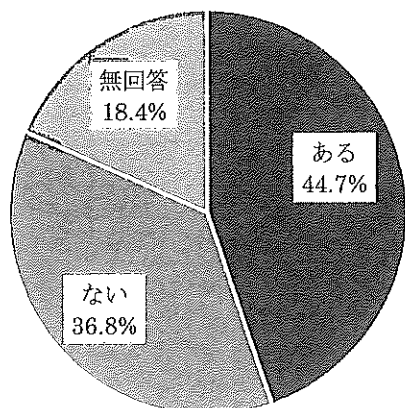
| 回 答  | 回答数 | 割合   |
|------|-----|------|
| 1)ある | 9   | 39.1 |
| 2)無い | 14  | 60.9 |
| 無回答  | 0   | 0    |
| 合 計  | 23  | 100  |



【人・%】

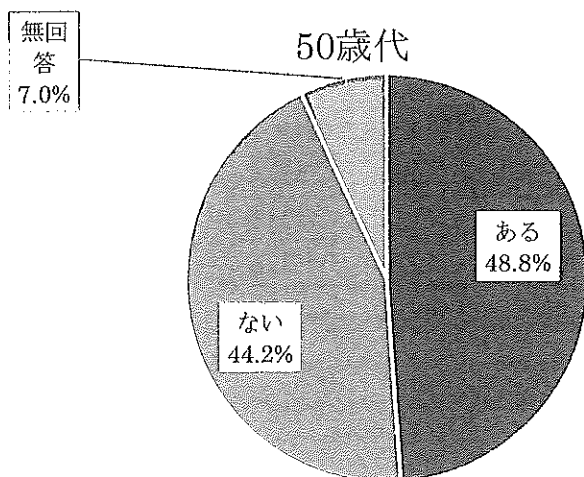
| 回 答  | 回答数 | 割合   |
|------|-----|------|
| 1)ある | 13  | 36.1 |
| 2)無い | 21  | 58.3 |
| 無回答  | 2   | 5.6  |
| 合 計  | 36  | 100  |

## 40歳代



【人・%】

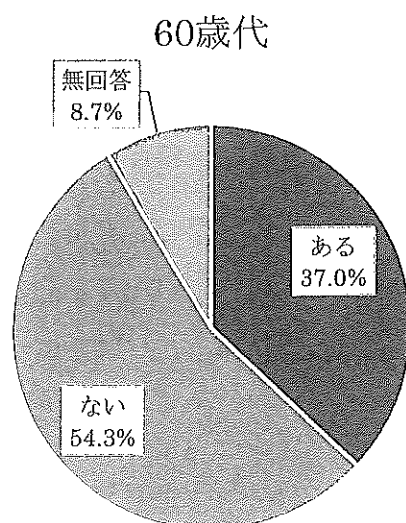
| 回 答  | 回答数 | 割合   |
|------|-----|------|
| 1)ある | 17  | 44.7 |
| 2)無い | 14  | 36.8 |
| 無回答  | 7   | 18.4 |
| 合 計  | 38  | 100  |



## 50歳代

【人・%】

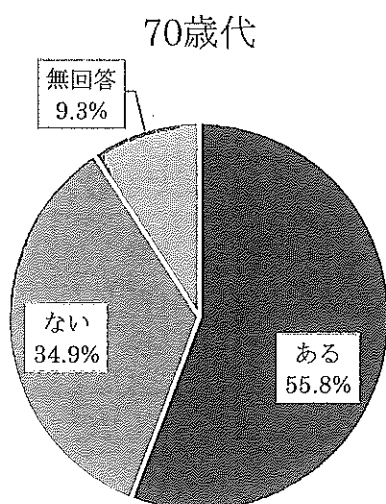
| 回 答  | 回答数 | 割合   |
|------|-----|------|
| 1)ある | 21  | 48.8 |
| 2)無い | 19  | 44.2 |
| 無回答  | 3   | 7.0  |
| 合 計  | 43  | 100  |



## 60歳代

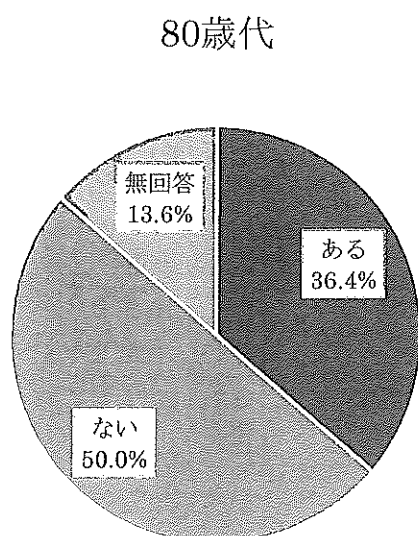
【人・%】

| 回 答  | 回答数 | 割合   |
|------|-----|------|
| 1)ある | 17  | 37.0 |
| 2)無い | 25  | 54.3 |
| 無回答  | 4   | 8.7  |
| 合 計  | 46  | 100  |



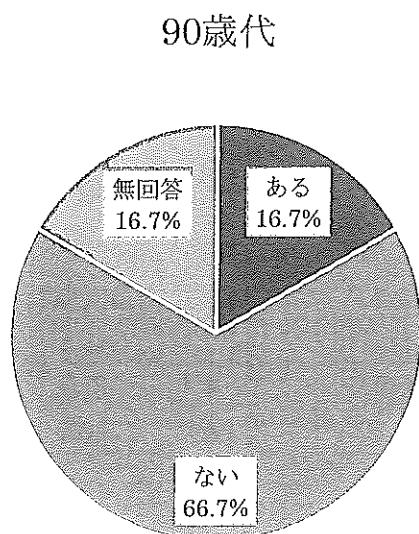
【人・%】

| 回 答  | 回答数 | 割合   |
|------|-----|------|
| 1)ある | 24  | 55.8 |
| 2)無い | 15  | 34.9 |
| 無回答  | 4   | 9.3  |
| 合 計  | 43  | 100  |



【人・%】

| 回 答  | 回答数 | 割合   |
|------|-----|------|
| 1)ある | 8   | 36.4 |
| 2)無い | 11  | 50.0 |
| 無回答  | 3   | 13.6 |
| 合 計  | 22  | 100  |



【人・%】

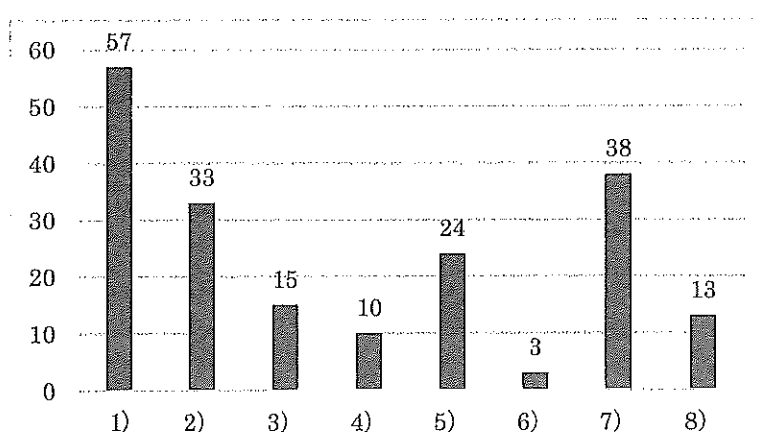
| 回 答  | 回答数 | 割合   |
|------|-----|------|
| 1)ある | 1   | 16.7 |
| 2)無い | 4   | 66.7 |
| 無回答  | 1   | 16.7 |
| 合 計  | 6   | 100  |

年齢別でみると、10歳代が一番多く57. %であった。次いで70歳代の55.8%、50歳代の48.8%、40歳代の44.7%であった。

問10 問9で1を選んだ方にお聞きします。  
 どんな活動に参加しましたか。(複数回答)

| 回 答         | 回答数 |
|-------------|-----|
| 1) スポーツ     | 51  |
| 2) ボランティア活動 | 34  |
| 3) 学習活動     | 13  |
| 4) 文化活動     | 11  |
| 5) 地域活動     | 28  |
| 6) 趣味       | 15  |

問11 問9で2を選んだ方にお聞きします。  
 参加しなかった理由は何ですか。(複数回答)



| 回 答              | 回答数 |
|------------------|-----|
| 1) 忙しくて暇がない      | 57  |
| 2) 希望する活動がない     | 33  |
| 3) 一緒に活動する仲間がいない | 15  |
| 4) 必要性が感じられない    | 10  |
| 5) 病気や身体が不自由なため  | 24  |
| 6) 費用がかかる        | 3   |
| 7) どんな活動があるか知らない | 38  |
| 8) その他           | 13  |
| 合 計              | 193 |

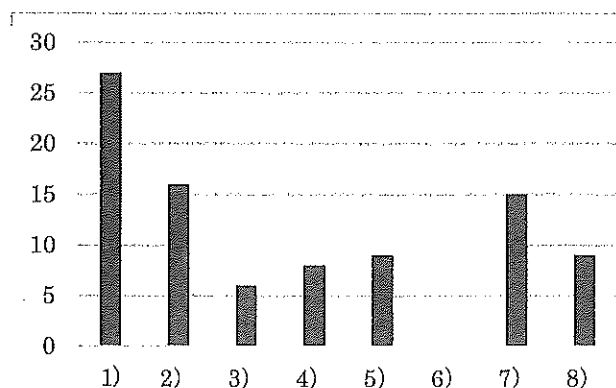
【その他の内容】※原文のまま記載しています。

- ・ 村にきたばかりでどのような活動があるかわからないため
- ・ コロナウィルス
- ・ コロナウィルスが一つの原因
- ・ 体力面の不安
- ・ 自主的にスポーツ活動をしている
- ・ 魅力を感じるものがない
- ・ 4月に赴任したばかりだから
- ・ 土日祝日は仕事がある

最も多かった回答は「忙しくて暇がない」で、次いで「どんな活動があるか知らない」「希望する活動がない」の順となりました。また「その他」の回答では、コロナの影響により参加を控えたという回答が見られました。

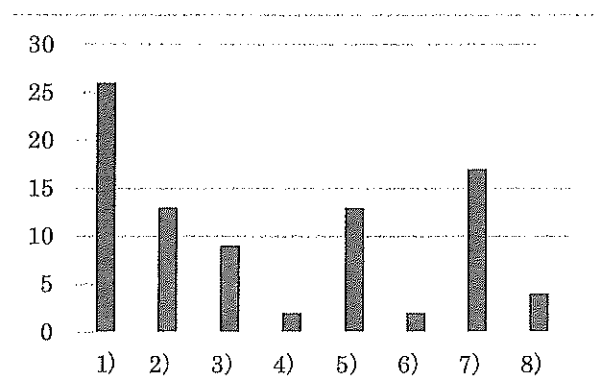
◇男女別

【男性】



| 回 答                | 回答数 |
|--------------------|-----|
| 1) 忙しくて暇がない        | 27  |
| 2) 希望する活動がない       | 16  |
| 3) 一緒に活動する仲間がいない   | 6   |
| 4) 必要性を感じられない      | 8   |
| 5) 病気や身体が不自由なため    | 9   |
| 6) 費用がかかる          | 0   |
| 7) どのような活動があるか知らない | 15  |
| 8) その他             | 9   |
| 合 計                | 49  |

【女性】

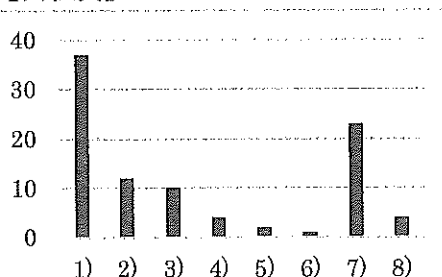


| 回 答                | 回答数 |
|--------------------|-----|
| 1) 忙しくて暇がない        | 26  |
| 2) 希望する活動がない       | 13  |
| 3) 一緒に活動する仲間がいない   | 9   |
| 4) 必要性を感じられない      | 2   |
| 5) 病気や身体が不自由なため    | 13  |
| 6) 費用がかかる          | 2   |
| 7) どのような活動があるか知らない | 17  |
| 8) その他             | 4   |
| 合 計                | 48  |

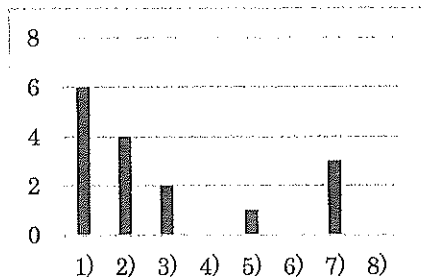
男女とも、「忙しくて暇がない」が最も多いが、男性は「希望する活動がない」、女性は「どんな活動があるか知らない」が次に多かった。また男性は女性に比べて「必要性を感じられない」と答える人が多く、女性は男性に比べて「病気や身体が不自由なため」と答える人が多かった。

◇就業形態別

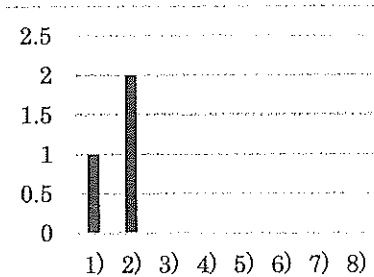
【会社員】



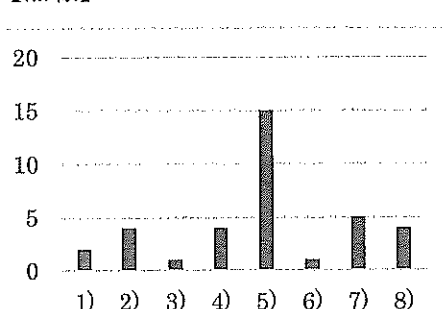
【自営業】



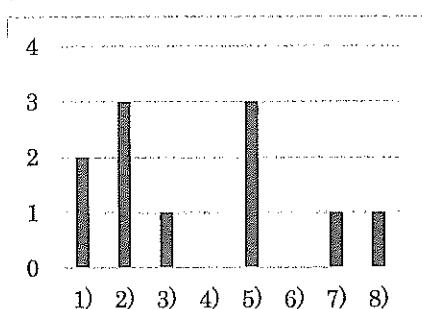
【学生】



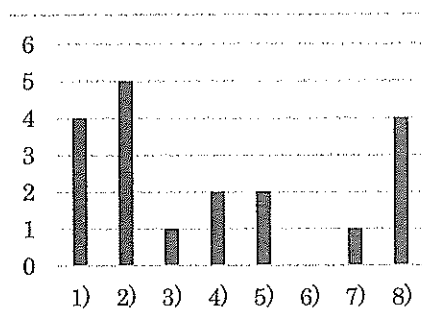
【無職】



【専業主婦】



【その他】



回答

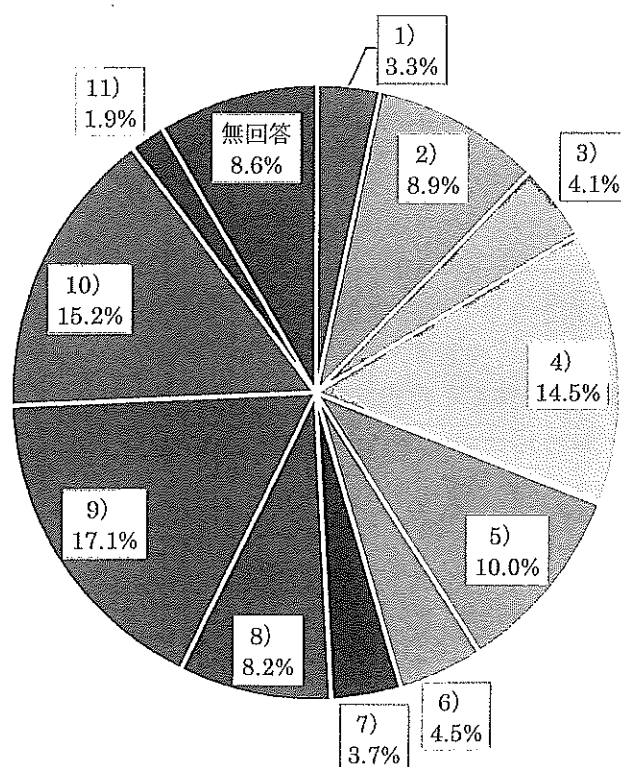
- 1) 忙しくて暇がない
- 2) 希望する活動が無い
- 3) 一緒に活動する仲間がいない
- 4) 必要性を感じられない
- 5) 病気や身体が不自由なため
- 6) 費用がかかる
- 7) どんな活動があるか知らない
- 8) その他

会社員と自営業では「忙しくて暇がない」が一番多いという点は共通しているが、次に多いのが会社員では「どんな活動があるか知らない」、自営業では「希望する活動がない」という違いがあった。また無職、専業主婦においては、「病気や身体が不自由なため」を挙げる人が多いのが特徴です。

問 12 参加してみたい生涯学習活動はどれですか？ 該当する番号に1つだけ○を付けてください。

【人・％】

| 回 答                   | 回答数 | 割合   |
|-----------------------|-----|------|
| 1) 仕事や就職に役立つもの        | 9   | 3.3  |
| 2) 資格の取得、スキルアップに役立つもの | 24  | 8.9  |
| 3) 家庭生活に役立つもの         | 11  | 4.1  |
| 4) 自分の人生を豊かにするもの      | 39  | 14.5 |
| 5) 健康づくりに役立つもの        | 27  | 10.0 |
| 6) 人の役にたつもの           | 12  | 4.5  |
| 7) 自分の知識・能力・経験を生かせるもの | 10  | 3.7  |
| 8) 気分転換できるもの          | 22  | 8.2  |
| 9) 興味、趣味に関するもの        | 46  | 17.1 |
| 10) 参加したいものはない        | 41  | 15.2 |
| 11) その他               | 5   | 1.9  |
| 無回答                   | 23  | 8.6  |
| 合 計                   | 269 | 100  |





【具体的な内容】※原文のまま記載しています。

1) 仕事や就職に役立つもの

- ・英会話

2) 資格の取得、スキルアップに役立つもの

- ・パソコン教室
- ・英会話

4) 自分の人生を豊かにするもの

- ・健康に関して

5) 健康づくりに役立つもの

- ・運動系
- ・料理教室、からだにいい料理が知りたい
- ・年齢的に健康で日常生活を過ごしたい

7) 自分の知識・能力・経験を生かせるもの

- ・洋裁教室（2級）（手芸、洋裁教室の指導者の資格）を持っている

8) 気分転換できるもの

- ・登山
- ・スポーツ活動
- ・たのしい活動

9) 興味、趣味に関するもの

- ・運動
- ・スポーツ等
- ・具体的に思い浮かばないけど、運動だったり、料理とか

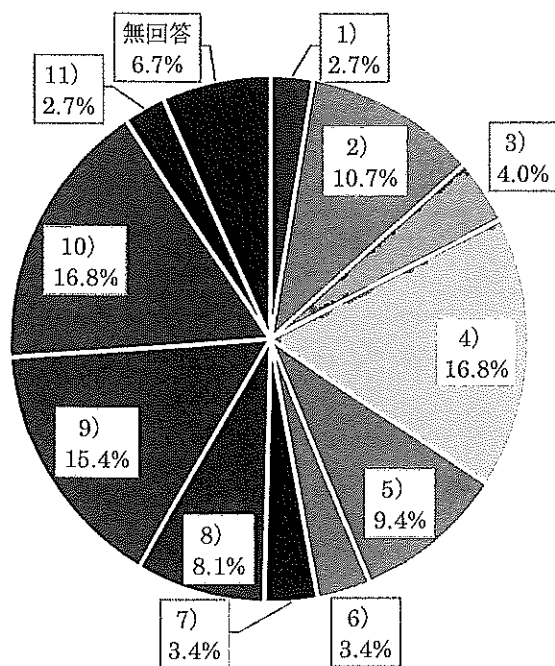
11) その他

- ・子どもの心身の成長につながるもの

最も多かったのは「興味、趣味に関するもの」(17.1%)で、次いで「参加したいものはない」(15.2%)、「自分の人生を豊かにするもの」(14.5%)となりました。「仕事や就職に役立つもの」(3.3%)、「自分の知識・能力・経験を生かせるもの」(3.7%)、「家庭生活に役立つもの」(4.1%)といった実務的な生涯学習活動に対する要望は総じて低いという結果となりました。

◇男女別

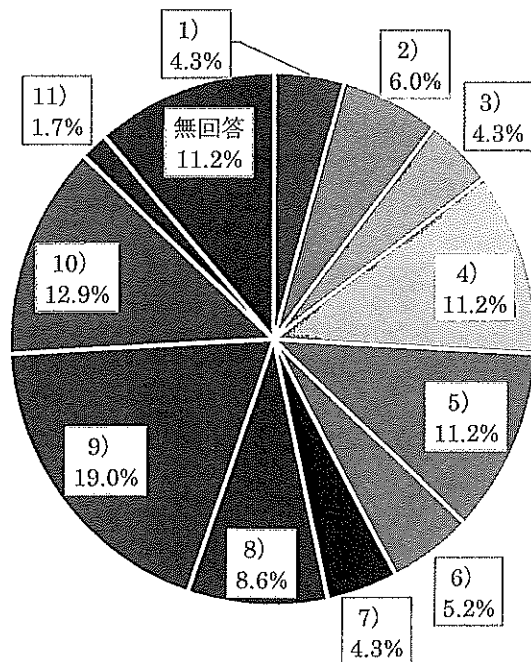
【男性】



【人・%】

| 回 答                   | 回答数 | 割合   |
|-----------------------|-----|------|
| 1) 仕事や就職に役立つもの        | 4   | 2.7  |
| 2) 資格の取得、スキルアップに役立つもの | 16  | 10.7 |
| 3) 家庭生活に役立つもの         | 6   | 4.0  |
| 4) 自分の人生を豊かにするもの      | 25  | 16.8 |
| 5) 健康づくりに役立つもの        | 14  | 9.4  |
| 6) 人の役にたつもの           | 5   | 3.4  |
| 7) 自分の知識・能力・経験を生かせるもの | 5   | 3.4  |
| 8) 気分転換できるもの          | 12  | 8.1  |
| 9) 興味、趣味に関するもの        | 23  | 15.4 |
| 10) 参加したいものはない        | 25  | 16.8 |
| 11) その他               | 4   | 2.7  |
| 無回答                   | 10  | 6.7  |
| 合 計                   | 149 | 100  |

【女性】

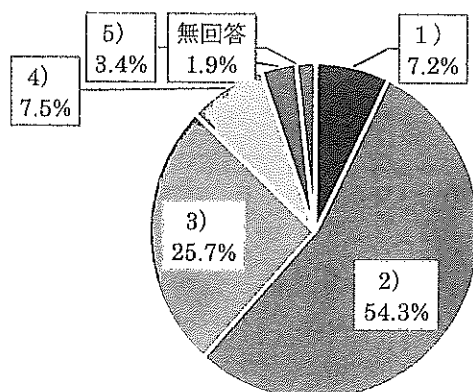


【人・%】

| 回 答                   | 回答数 | 割合   |
|-----------------------|-----|------|
| 1) 仕事や就職に役立つもの        | 5   | 4.3  |
| 2) 資格の取得、スキルアップに役立つもの | 7   | 6.0  |
| 3) 家庭生活に役立つもの         | 5   | 4.3  |
| 4) 自分の人生を豊かにするもの      | 13  | 11.2 |
| 5) 健康づくりに役立つもの        | 13  | 11.2 |
| 6) 人の役にたつもの           | 6   | 5.2  |
| 7) 自分の知識・能力・経験を生かせるもの | 5   | 4.3  |
| 8) 気分転換できるもの          | 10  | 8.6  |
| 9) 興味、趣味に関するもの        | 22  | 19.0 |
| 10) 参加したいものはない        | 15  | 12.9 |
| 11) その他               | 2   | 1.7  |
| 無回答                   | 13  | 11.2 |
| 合 計                   | 116 | 100  |

男性は「自分の人生を豊かにするもの」と「参加したいものはない」が同率で最も多く（16.8%）、次に「興味、趣味に関するもの」（15.4%）となったのに対し、女性は「興味、趣味に関するもの」が最も多く（19.0%）、次に「参加したいものはない」（12.9%）となりました。

問 13 現在の生活に満足していますか？



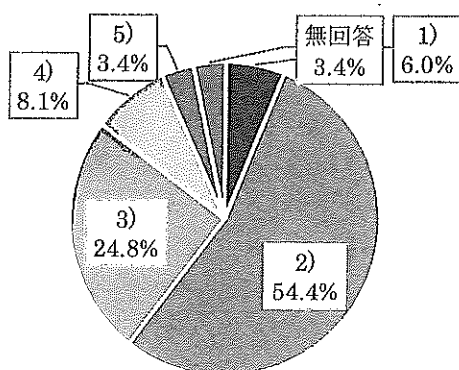
【人・%】

| 回 答           | 回答数 | 割合   |
|---------------|-----|------|
| 1) とても満足している  | 19  | 7.2  |
| 2) 満足している     | 144 | 54.3 |
| 3) どちらともいえない  | 68  | 25.7 |
| 4) あまり満足していない | 20  | 7.5  |
| 5) 満足していない    | 9   | 3.4  |
| 無回答           | 5   | 1.9  |
| 合 計           | 265 | 100  |

「とても満足している」「満足している」を合わせると 61.5%となり、「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人は 10.9%でした。

◇男女別

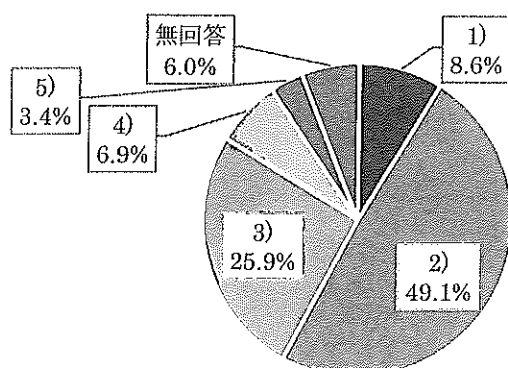
【男性】



【人・%】

| 回 答           | 回答数 | 割合   |
|---------------|-----|------|
| 1) とても満足している  | 9   | 6.0  |
| 2) 満足している     | 81  | 54.4 |
| 3) どちらともいえない  | 37  | 24.8 |
| 4) あまり満足していない | 12  | 8.1  |
| 5) 満足していない    | 5   | 3.4  |
| 無回答           | 5   | 3.4  |
| 合 計           | 149 | 100  |

【女性】

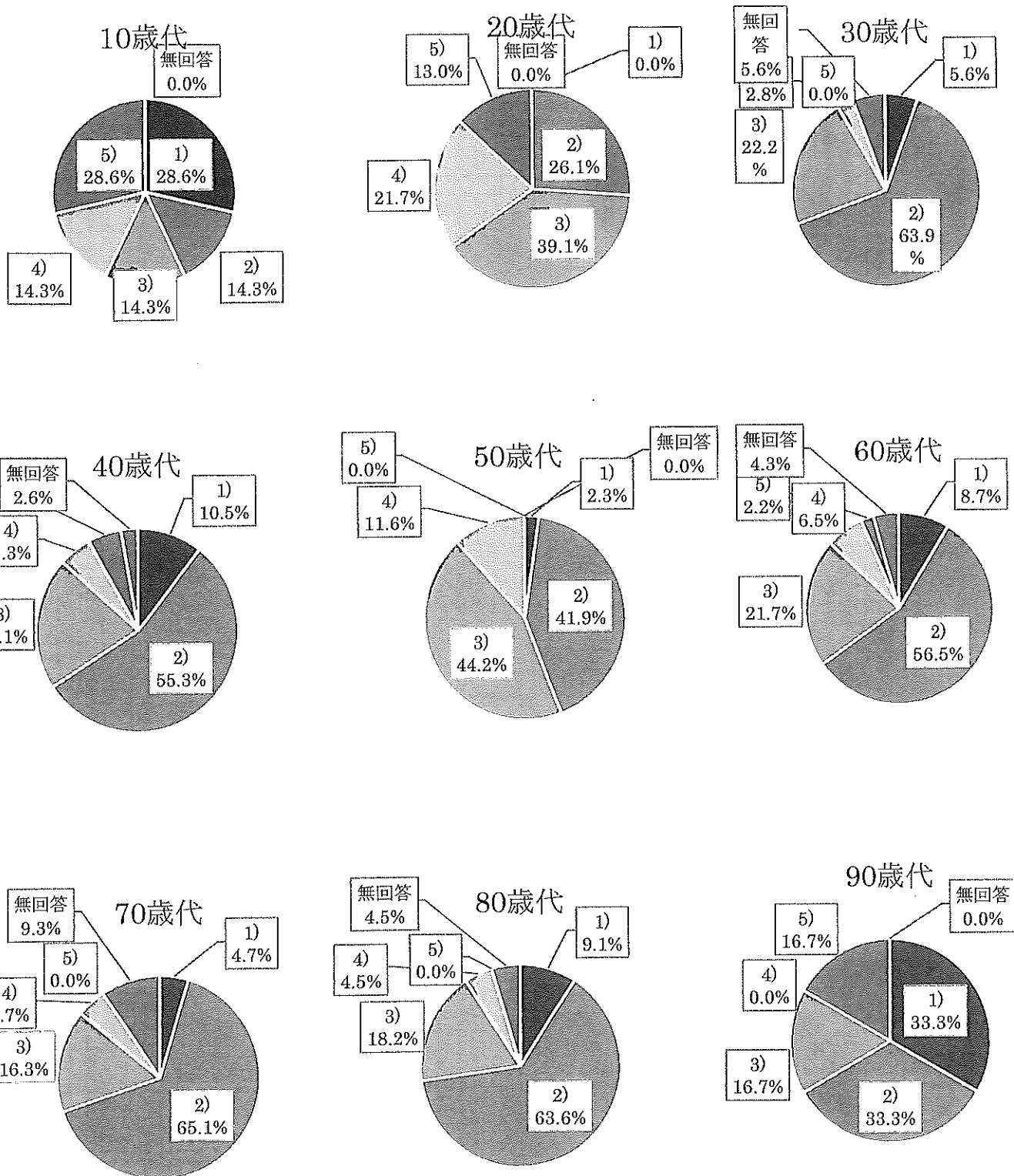


【人・%】

| 回 答           | 回答数 | 割合   |
|---------------|-----|------|
| 1) とても満足している  | 10  | 8.6  |
| 2) 満足している     | 57  | 49.1 |
| 3) どちらともいえない  | 30  | 25.9 |
| 4) あまり満足していない | 8   | 6.9  |
| 5) 満足していない    | 4   | 3.4  |
| 無回答           | 7   | 6.0  |
| 合 計           | 116 | 100  |

男女共に「満足している」と答えた人が最も多くなりました。「とても満足している」「満足している」を合わせると、男性は 60.4%、女性は 57.7%と男性の方がやや多い結果となりました。

◇年齢別



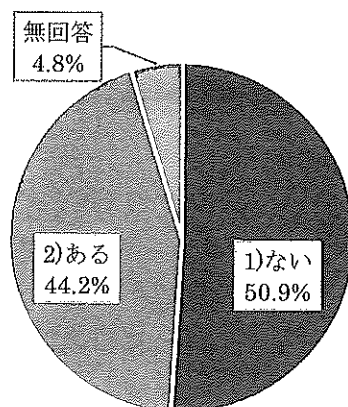
「とても満足している」「満足している」と回答した方が一番多いのは、80歳代で72.7%、次いで70歳代69.8%、30歳代69.8%となりました。反対に「あまり満足していない」「満足していない」との回答が一番多かったのは、10歳代で42.9%、次に20歳代で34.7%となりました。

#### 項目4 ボランティア活動について

問14 ボランティア活動に参加したことがありますか？

【人・％】

| 回 答   | 回答数 | 割合   |
|-------|-----|------|
| 1) ない | 137 | 50.9 |
| 2) ある | 119 | 44.2 |
| 無回答   | 13  | 4.8  |
| 合 計   | 269 |      |

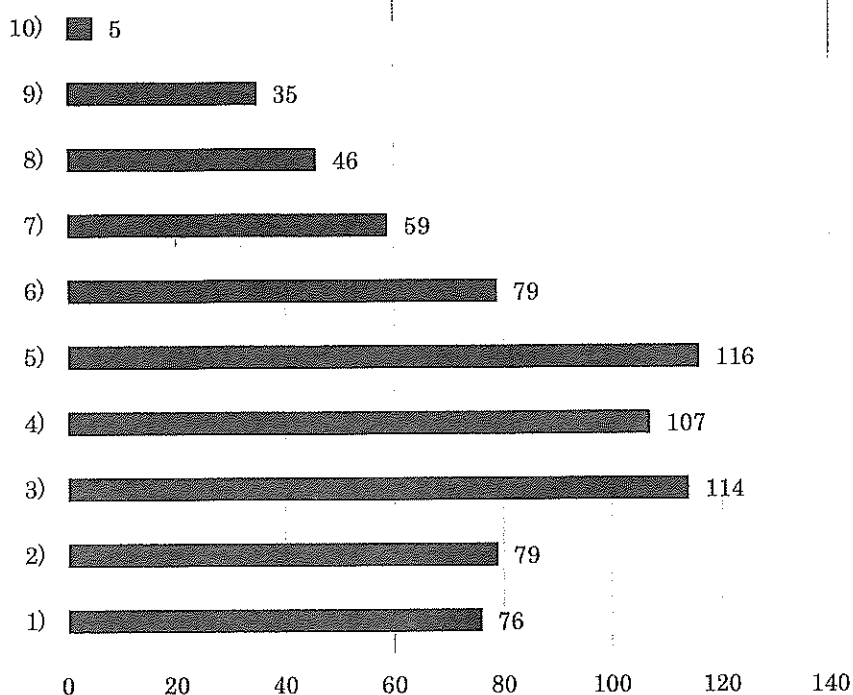


#### 【活動内容】

- ・学校見守り      ・学校支援      ・小中学生、地域の方に書を教える（体験してもらう）
- ・大学での教育ボランティア      ・野球スタッフ      ・子供の部活動
- ・母国ミャンマーで子どもたちに英語を教えたり、仏教のキャンプで子どもたちのお世話をしたりしました。      ・小学生向けの塾の先生
- ・ゴミ拾い      ・花いっぱい      ・草刈り      ・清掃活動      ・自然保護      ・森林ボランティア
- ・花壇の整備      ・川の教室      ・山菜市      ・自然観察      ・廃品回収
- ・身体障害者サポート      ・日赤      ・お元気さんボランティア      ・高齢者支援
- ・災害ボランティア
- ・子ども会      ・絵本読み聞かせ      ・子育て支援      ・りょうしんのいないこどもをてつだってあげました
- ・お祭り準備      ・村民スポレク      ・村民スキー大会      ・イベント手伝い      ・ふれあい広場
- ・通訳      ・国際交流      ・外国の方へ日本文化の紹介
- ・マクドナルドハウス      ・連合ボランティア      ・募金活動      ・社協行事      ・町内活動
- ・アイヌ権利回復の諸活動      ・ファミリーサポートセンター      ・ゆうあいボランティア
- ・フードバンク

「ない」と答えた方が50.9%、「ある」と答えた方が44.2%でした。活動内容をみると、ゴミ拾いや花壇整備等の環境美化活動を挙げた方が多くいました。

問 15 占冠村でよりよい暮らしをしていくために、どのようなボランティア活動があればよいと思いますか？（複数回答）



| 回 答                    | 回答数 |
|------------------------|-----|
| 1) 学校活動を支援する活動         | 76  |
| 2) スポーツや文化活動を指導する活動    | 79  |
| 3) 自然や環境を守る活動          | 114 |
| 4) 高齢者や障害のある方などを支援する活動 | 107 |
| 5) 災害時の支援活動            | 116 |
| 6) 子育てを支援する活動          | 79  |
| 7) イベントや観光を支援する活動      | 59  |
| 8) 外国人の生活を支援する活動       | 46  |
| 9) 特にない                | 35  |
| 10) その他                | 5   |
| 合 計                    | 716 |

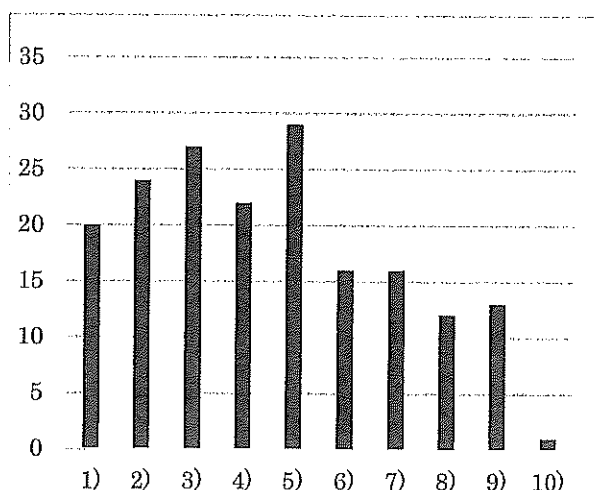
【その他の内容】※原文のまま記載しています。

- ・年に1度部落宅2～3時間滞在、生活を知る
- ・アスペンとの姉妹交流
- ・除雪ボランティア
- ・災害時に役立つライフハックと子ども達の火おこし体験などを合わせて行うとよい。
- ・子ども達と服のまま川に入り、専門家立ち合いで川で体を浮かす方法や2リットルのペットボトルを抱いて浮かぶなどを行うべき。
- ・高齢者や障害のある方以外で、困っていることがある方を支援する活動。

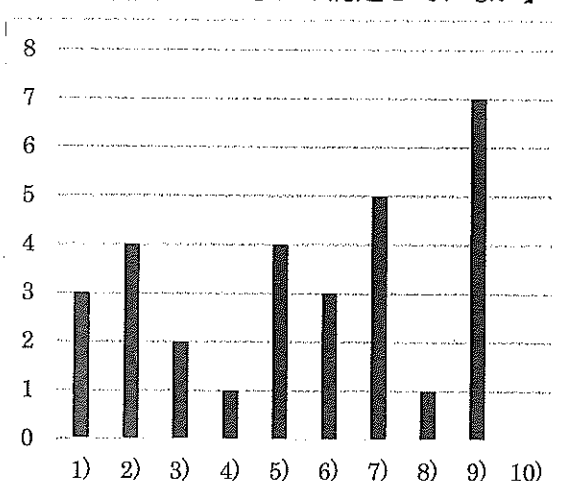
「災害時の支援活動」が最も多く、次に「自然や環境を守る活動」「高齢者や障害のある方などを支援する活動」という回答となりました。

# ◇生活満足度別

【とても満足＋満足】



【あまり満足していない＋満足していない】



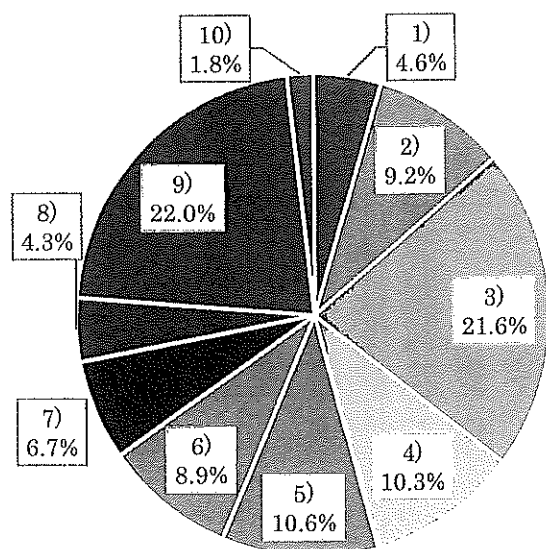
## 回答

- 1) 学校活動を支援する活動
- 2) スポーツや文化活動を指導する活動
- 3) 自然か環境を守る活動
- 4) 高齢者や障害のある方などを支援する活動
- 5) 災害時の支援活動
- 6) 子育てを支援する活動
- 7) イベントや観光を支援する活動
- 8) 外国人の生活を支援する活動
- 9) 特にない
- 10) その他

問13「生活満足度」別に分類すると、現在の生活に「とても満足」「満足している」と答えた人たちがあつたらよいと考えているボランティア活動で最も多かったのは「災害時の支援活動」で、次に「自然や環境を守る活動」となりました。一方、現在の生活に「あまり満足していない」「満足していない」と答えた人たちの回答で最も多かったのは「特にない」でした。次に多かったのが「イベントや観光を支援する活動」となり、生活の満足度で、あつたらよいと思うボランティア活動に違いが生じる結果となりました。

問 16 参加してみたいボランティア活動はなんですか。該当する番号に1つだけ○を付けてください

【人・%】



| 回 答                    | 回答数 | 割合   |
|------------------------|-----|------|
| 1) 学校活動を支援する活動         | 13  | 4.6  |
| 2) スポーツや文化活動を指導する活動    | 26  | 9.2  |
| 3) 自然や環境を守る活動          | 61  | 21.6 |
| 4) 高齢者や障害のある方などを支援する活動 | 29  | 10.3 |
| 5) 災害時の支援活動            | 30  | 10.6 |
| 6) 子育てを支援する活動          | 25  | 8.9  |
| 7) イベントや観光を支援する活動      | 19  | 6.7  |
| 8) 外国人の生活を支援する活動       | 12  | 4.3  |
| 9) 特にない                | 62  | 22.0 |
| 10) その他                | 5   | 1.8  |
| 合 計                    | 282 | 100  |

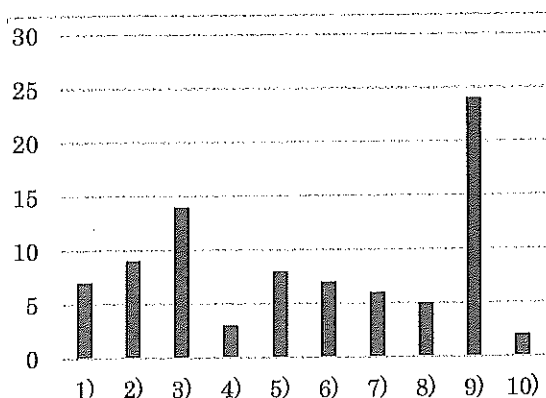
【その他の内容】※原文のまま記載しています。

- ・自分と違うんだを知る活動
- ・アスペンとの姉妹交流
- ・すべてに参加したいが年齢的に無理である
- ・マッサージ

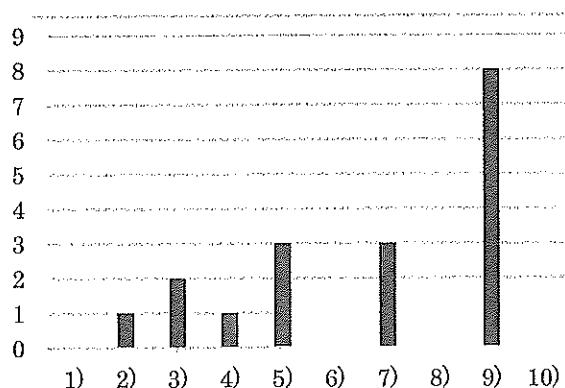
一番多かったのは「特にない」の22.0%でした。次いで「自然や環境を守る活動」は21.6%でしたが、問15「あったらよいと思うボランティア」で最も多かった「災害時の支援活動」は10.6%とほぼ半分の割合でした

#### ◇生活満足度別

【とても満足＋満足】



【あまり満足していない＋満足していない】



生活の満足度に関わらず、参加してみたいボランティアは「特にない」が最も多い回答となりました。次に多いのが生活の満足度が高いグループでは「自然環境を守る活動」で、満足度が低いグループは「災害時の支援活動」「イベントや観光を支援する活動」という回答になりました。

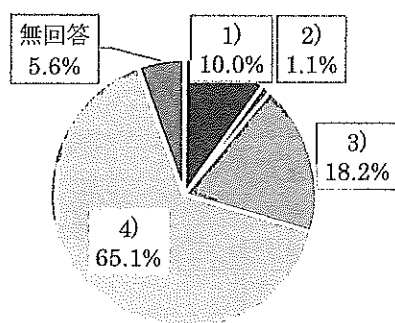


## 項目5 自主創造プログラムについて

### 自主創造プログラムとは

村民自らが企画・立案し、村民を対象に行う公民館事業です。事業に係る費用の一部（講師謝礼、消耗品費、チラシ折込料など）を公民館が助成します。

問17 「自主創造プログラム」で事業を実施したこと、および参加したことはありますか？該当する番号に1つだけ○を付けてください。



【人・%】

| 回 答          | 回答数 | 割合   |
|--------------|-----|------|
| 1) 実施あり、参加あり | 27  | 10.0 |
| 2) 実施あり、参加なし | 3   | 1.1  |
| 3) 実施なし、参加あり | 49  | 18.2 |
| 4) 実施なし、参加なし | 175 | 65.1 |
| 無回答          | 15  | 5.6  |
| 合 計          | 269 | 100  |

何らかの形で「自主創造プログラム」に関わったことがある人は、29.3%でした。前回（平成29年）調査では57.1%であったことから、ほぼ半分となる結果でした。

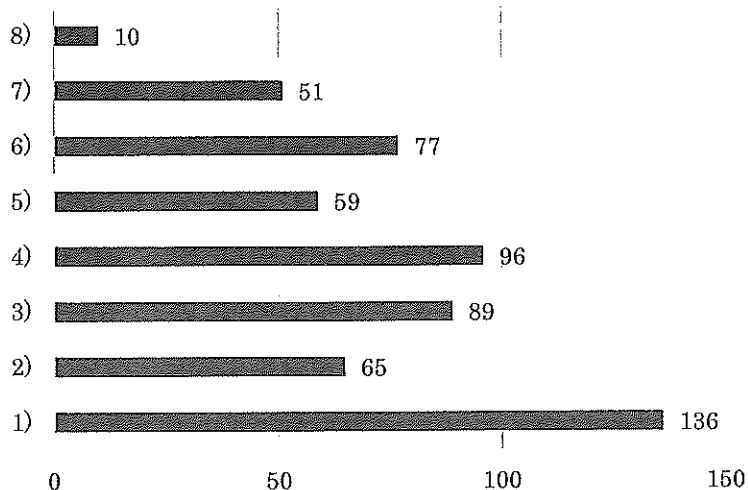
問18 こんな自主創造プログラムがあれば参加したい！

- ・ミニバレー大会 ・スポーツ大会 ・村民マラソン ・クライミング ・スポーツイベント
- ・筋トレ（器具を利用した） ・登山会 ・ラフティング
- ・年齢差や立場を気にしないで、みんなでなかよく楽しく行えるスポーツ系
- ・マラソンソフトボールのように長時間和気あいあい行うスポーツ
- ・子供のスポーツ大会（空手、体操、サッカー、バレエ）
- ・そば打ち ・料理教室 ・家庭料理講座 ・山菜料理の教室 ・お菓子作り
- ・メープルシロップの体験 ・模型教室 ・中級～上級者対象の手芸教室 ・木材でリスの小屋を作りたい ・木材で子どもたちにのこぎりを使ってもらいたい
- ・交流会 ・村民と移住希望者の意見交換会 ・外国人との交流 ・環境問題をテーマにしたドキュメンタリーや映画の上映会 ・座談会
- ・映画上映会 ・演劇鑑賞会 ・歩く郷土史 ・村の歴史勉強会 ・川の教室 ・家庭教育セミナー ・簡単着物着付け講座 ・読み聞かせ ・絵画教室 ・書道教室 ・秋から冬に室内で出来ること ・太鼓 ・富良野塾OBの公演 ・英語勉強会 ・子供向けの音楽会
- ・自然ガイドの育成 ・鹿の解体 ・自然写真の撮影ツアー ・村民の山菜巡り ・山菜名人による山菜教室 ・鶴川に関するプログラム ・はちみつ系採取 ・山菜狩り ・キノコ狩り ・山菜市 ・SDGsを体験できるようなプログラム ・自然を使ったアート体験
- ・キャンプ体験 ・釣り教室 ・農業作業お手伝い会 ・村内で山歩きやハイキングができる場所の紹介・案内
- ・高齢者の健康教室 ・アンチロコモ運動 ・ヨガ ・ストレッチ ・健康に関する教室（年齢別） ・ツボ教室
- ・資産運用等のお金の教室 ・アウトドアガイドによる救急救命講習 ・ロープワーク教室

・地域づくり    ・星空観察    ・アイヌ民族のこと    ・高齢者・障害者支援活動    ・トマムリ  
 ゾート体験    ・やったことのないスポーツや楽器の演奏    ・陶芸（単発で）    ・地元産鹿肉の  
 村内家庭流通に向けた検討、学習、試行等    ・村内の史跡等の学習会    ・地域に関する書籍等出  
 版物の制作    ・鹿革、鹿角の加工、商品開発

問 19 自主創造プログラムを実現するために、どんな支援があればよいと思いますか？（複数回答）

【人】



| 回 答           | 回答数 |
|---------------|-----|
| 1) 経費の助成      | 136 |
| 2) 企画の手伝い     | 65  |
| 3) 運営の手伝い     | 89  |
| 4) 施設、資器材等の提供 | 96  |
| 5) 講師のあっせん    | 59  |
| 6) 周知宣伝       | 77  |
| 7) 特にない       | 51  |
| 8) その他        | 10  |
| 合 計           | 583 |

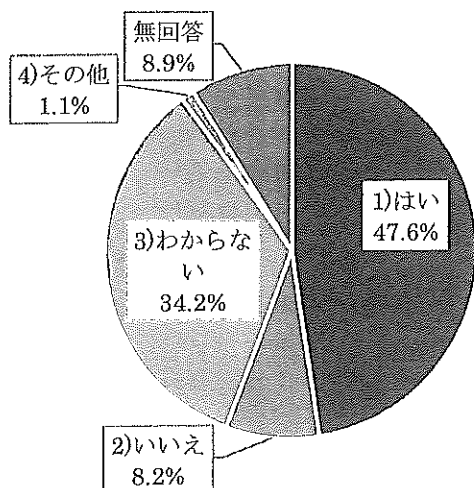
【その他の回答】 ※原文のまま記載しています。

- ・ 事業報告の手伝い    ・ 同好の士を集めること    ・ 企画から実施までのプロセスの周知
- ・ 車持っていない人に送迎のサポート

最も多かったのは「経費の助成」、次いで「施設、資器材等の提供」「運営の手伝い」「周知宣伝」という回答でした。

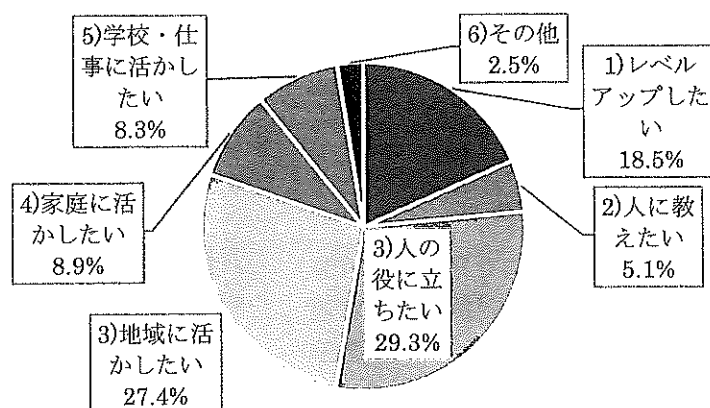
項目 7 学びを生かす仕組みづくりについて

問 20 生涯学習活動で学んだことや、身に着けた力、経験を生かしたいと思いますか？



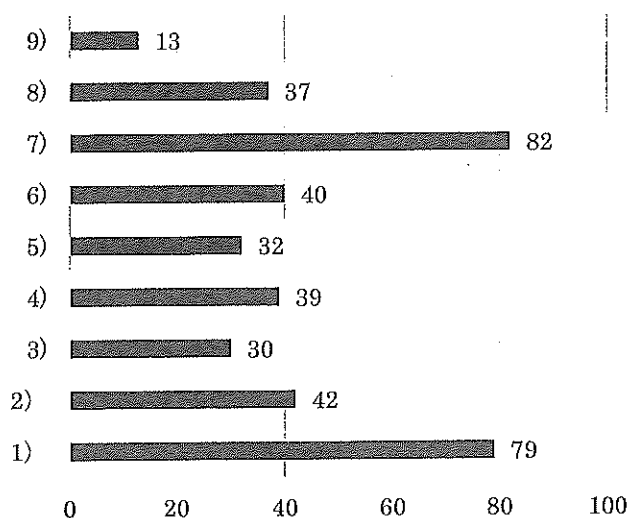
「はい」と答えた人が47.6%、「いいえ」と答えた人は8.2%でした。

問 21 問 20 で 1 を選んだ方にお聞きします。  
どのように活かしたいと思いますか。(1 つだけ○)



「人の役に立ちたい」(29.3%)「地域に活かしたい」(27.4%)と答えた方を合わせると過半数の方が、身に着けたことを他の人のために活かしたいと考えています。

問 22 占冠村の生涯学習活動を充実させるために、どのような仕組みがあるとよいですか。2 つ選んでください。 【人】



| 回 答                        | 回答数 |
|----------------------------|-----|
| 1) 同じ講座、教室の継続した開催（毎月、毎年など） | 79  |
| 2) 初級、中級、上級といったレベル分け       | 42  |
| 3) 作品、技術の発表会、大会の開催         | 30  |
| 4) 施設や設備の夜間、土日開放           | 39  |
| 5) 指導者の育成につながる講座           | 32  |
| 6) 事業内容の周知                 | 40  |
| 7) 参加しやすい体制                | 82  |
| 8) 他市町村との連携や村外での活動機会       | 37  |
| 9) その他                     | 13  |
| 合 計                        | 394 |

【その他の回答】 ※原文のまま記載しています。

・ 自宅でできるもの ・ むかわ町との連携 ・ イタヤカエデの植樹活動 ・ 足の無い人に送迎サポート

最も多かったのが「参加しやすい体制」で、次に「同じ講座、教室の継続した開催」という結果でした。

問 23 こんな講座、教室、活動に参加してみたい！というものがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ヨガ教室
- ・スポーツ体験会
- ・スポーツトレーナーによる継続的な体の鍛え方のアドバイス
- ・村民マラソン
- ・卓球教室
- ・筋トレ、肉体改造の教室（初心者用）
- ・アンチロコモ運動教室
- ・スポーツ大会
- ・マラソン、ランニング講座
- ・スキー講座
- ・eスポーツ
- ・フットサル
- ・子供のための護身術、空手
- ・やったことのないスポーツ
- ・ラフティング
- ・子どものスポーツクラブ活動（空手、体操、トランポリン）
- ・中央でのクライミング教室
- ・初級者スキークラブ
- ・弓道体験
- ・親子クッキング教室
- ・簡単にできる料理教室
- ・お料理お菓子作り教室
- ・山菜料理教室
- ・クラフト教室
- ・中級～上級者対象の手芸教室
- ・絵手紙の講座
- ・カメラ（ムービー・スチール）講座
- ・動画編集講座
- ・陶芸教室
- ・サバイバル術体験講座
- ・季節ごとのイベント
- ・イベント料理作り
- ・パーティー
- ・郷土史深堀
- ・村民ダンス大会
- ・パソコン教室
- ・絵をうまく描けるような講座
- ・村の歴史勉強会
- ・史跡の研究
- ・SDGs
- ・合唱クラブ
- ・楽器を習いたい
- ・みんなで演奏会したりしたい
- ・書道教室
- ・絵画教室
- ・ダンス
- ・楽器演奏
- ・映画上映会
- ・そろばん教室
- ・吹奏楽サークル
- ・和太鼓教室
- ・彫刻
- ・山菜等の知識を教える講座
- ・星をみようツアー
- ・雲海テラスに行かなくても雲海が見られるツアー
- ・夜間虫取りツアー
- ・自然風景写真教室
- ・天体望遠鏡教室
- ・農作業お手伝い会
- ・ダイエット教室
- ・オンライン講座であれば自宅で気軽に参加できそう
- ・少人数でゆっくり進められるもの
- ・高齢者、障害者支援活動

問 24 社会教育・生涯学習に関してご意見、ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

【周知方法】

- ・どういふものがあるのか WEB 上でも周知してほしい（特にスポーツサークル）。入るための窓口がわからないので、その点も改善してほしい。
- ・講座、教室があるのかもわからないし、参加したくてもどこで聞けばいいかもわからない。情報がない。もっといろんな人が参加しやすくしてほしい。
- ・全然情報がない。新聞折込は新聞を契約してないのでわからない。
- ・公民館事業は村外の方でも参加できますか（講師以外）

【学びの場の提供】

- ・60歳以上の人が入学できる高齢者大学で学ぶ人が少なくなっていると言いました。15年前に卒業した私ですが、60歳過ぎてから入学して色々な事を教わったり、見学に連れて行って頂いたり、とても楽しかったです。あの頃のように、大勢の生徒さんが和気あいあいと集まる場所であってほしいです。
- ・当村に於て、何かを学びたい、こんな講座をと希望しても指導者を確保する事が難しく断念せざるを得ません。予算的に厳しいと思いますが、講師を付けた講座、教室を継続的に作って欲しい。その中で将来はやがて指導者に育成につなげていくこと。（現在活動している陶芸クラブが良い例かと思います。）自主創造プログラムの事業が多くみられますが、それに持って行く為にも、講座や教室が自立していく事が出来るように行政の支援、学びの場を提供してほしいです。
- ・リーダー作り、人材作り。すそ野を広げるためには子どもの時からの読書につくる。図書活動（絵本ふくめ）と文書活動の充実。ある年齢になったら自分史が書けるくらいのレベルへ。

### 【まちづくり】

・トマム在住所目線で一言。トマムに村民を増加させることを考えてはいかがでしょうか。

お店はない、ガソリンスタンドは数日、数時間の営業、公営団地は空いているが、条件が高く居住できない人がある。もっと住みやすい環境を作ることで、「社会教育、生涯学習」を実施しやすいと感じます。

簡単なことではないと重々心得ていますが努力を希望します。

・占冠は文化活動が少ないのでは、と思います。しかしなかなか自分達から提案する人(自主創造プログラム)は少ないので、このアンケートなどをもとに、教育委員会などから提案して頂けたらありがたいです。そうして占冠で共通の興味のある方が集まれば、その人たちの生活も豊かになり充実するのではと思います。そしてそういう活動から、移住者も増えてより良い地域になれば良いです

### 【施設】

・ジムなどの施設

・トマム支所のボルダリングが休日にも使えるとありがたいです。(平日だと行くのが難しいので)

・学校解放はスポーツのみであるため、音楽活動や文化活動などを学校解放でできないでしょうか？

・コミプラを使用する場合、料金がかかるので活動があまりできない。

### 【開催方法】

・これまで進めてきた事業でも繰り返し開催することが新たな参加者の掘り出しにつながると思います。

### 【自主創造プログラム】

・いつも様々な事業運営をありがとうございます。今後、多様化や高齢化で益々活動が期待される自主創造プログラム事業の継続と拡大を望みます。

### 【提案・要望】

・「書」に関することがあればお手伝いできます。(何かあれば占冠中学校までご連絡下さい)

・ヒグマミーティングに数回参加しましたが、調査、研究内容が素晴らしく、また、それを村民に還元してもらうのはとても有意義です。今後も継続していただきたいです。

・意欲的な企画やイベントがあり(参加することは少ないのですが)とてもいいことだと思っています。

ヒグマミーティングも内容が濃くて、とてもとても勉強になります。ヒグマ問題に取り組む姿勢、方向性も素晴らしいと思います。

・医療の進歩もあってか長生きが多くなり、高齢者比率が増加している一方で生涯を健康で自立して生活できない方も多くいます。楽しく自立した状態で生涯を終えられるように、健康づくりに主眼を置いた講座等があるといいのかもと思います。高齢者が億劫さを感じてしまう前に、自分の足で出て歩き、皆と関わり合う中で生活してするような仕組みを広げられれば、総じて村全体が元気になると思います。

何よりも生きるためには足腰と食事が大事。コロナ禍ゆえ難しいですが世代を超えた集まりがあるといいですね。

・知識、経験、資格等々を活用した講座を通して資格取得をすることにより、(自分のもの)将来(未来)活かされる学習も必要かなと思うので、そのような資格を持っている人の講座を開催できればと提案したい。

・幼児対象運動遊び、野外自然の遊びなど

・忙しいから参加できないだけで、参加したいものはいっぱいあります。



## 北海道占冠村第8次社会教育中期計画の策定経過

| 月 日          | 回数  | 内 容                                                                                                                                                        |
|--------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 令和4年5月23日    | 第1回 | 諮問                                                                                                                                                         |
| 令和4年6月27日    | 第2回 | 社会教育中期計画策定に係るアンケート調査について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査対象、調査方法について</li> <li>・ 調査回答の分析について</li> <li>・ 調査回答用紙（質問内容等）について</li> </ul>             |
| 令和4年7月13日    | 第3回 | 社会教育中期計画策定に係るアンケート調査について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査回答用紙（質問内容等）について</li> <li>・ 調査対象について</li> </ul>                                         |
| 令和4年8月1日～26日 |     | アンケート調査実施期間                                                                                                                                                |
| 令和4年9月1日～    |     | アンケート調査結果集計作業<br>アンケート結果分析                                                                                                                                 |
| 令和4年12月26日   |     | アンケート結果送付                                                                                                                                                  |
| 令和5年3月22日    | 第4回 | 社会教育中期計画の策定について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画目標の確認について</li> <li>・ 各ジャンルの「現状と課題」「めざす姿」「事業の方向性」の決定について</li> <li>・ 社会教育中期計画の最終確認について</li> </ul> |
| 令和5年3月31日    |     | 答申                                                                                                                                                         |

## 北海道占冠村第8次社会教育中期計画策定委員

【敬称略】

| 氏 名    | 住 所      | 役 職           | 備 考         |
|--------|----------|---------------|-------------|
| 安居 明美  | 占冠村字上トマム | 占冠村社会教育委員委員長  | 学校支援地域本部    |
| 二階堂 敏彦 | 占冠村字中央   | 占冠村社会教育委員副委員長 | 占冠村文化連盟     |
| 高橋 勝美  | 占冠村字占冠   | 占冠村社会教育委員     | 社会教育関係者     |
| 八木 洋幸  | 占冠村字中央   | 占冠村社会教育委員     | 少年育成指導委員    |
| 山口 康一  | 占冠村字中央   | 占冠村社会教育委員     | 占冠村校長会      |
| 浦田 章子  | 占冠村字中央   | 占冠村社会教育委員     | 占冠中央小学校 PTA |

北海道占冠村第8次社会教育中期計画策定アドバイザー

中 村 博 氏

事務局

占冠村教育委員会社会教育担当 上島 早苗

占冠村教育委員会社会教育担当 田中 健士郎